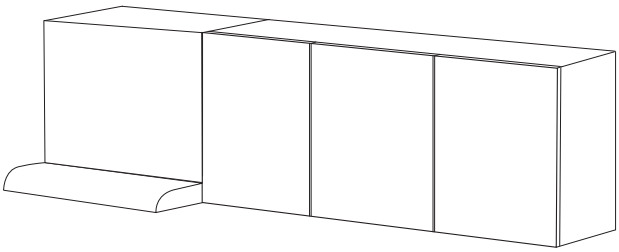
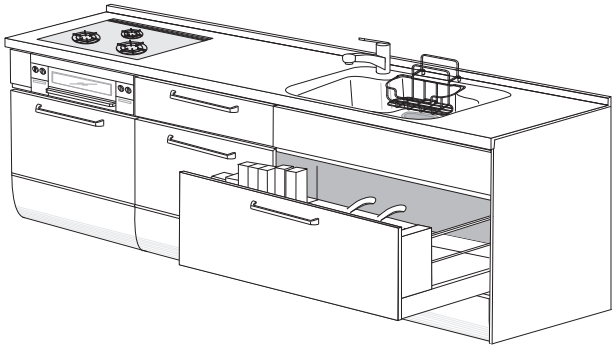
クリナップ®

キッチンから、笑顔をつくろう

システムキッチン
取扱説明書　保証書付

Stainless Cabinet Kitchen
クリンレディ





このたびは、クリナップ商品をご購入いただきまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、商品を安全に長い間ご使用いただくために、注意事項やお手入れ方法についてまとめたものです。
ご使用前に必ずお読みいただき、以後も手近に保管し、ご活用ください。

もくじ・・・・・・・・・・・・・・・・・3
ご利用の前に・・・・・・・・・・・・・4
安全上の注意・・・・・・・・・・・・・8
キッチン全体の使い方・・・・・・・・18
調理アイテムの使い方・・・・・・・・20
収納アイテムの使い方
- キャビネット -　・・・・30
- 吊戸棚 -　・・・・・・・・49
- キッチン周辺収納 -　・・54
対面型キッチン・その他部材・・・・59
こんなときは・・・・・・・・・・・・62
保証書・・・・・・・・・・・・・・・・63

クリンレディの特徴

クリンレディは、使いやすさと収納力を兼ね備えたシステムキッチンです。料理する、片付ける、お掃除する…それぞれの場面でお客様のキッチンライフが笑顔で包まれる様々な特徴があります。

清潔で丈夫なステンレスキャビネット

ステンレスはさびにくく、カビがつきにくい衛生的な素材です。また、熱や衝撃にも強いので、水や火を使うキッチンのキャビネットには最適です。

参照 3.1. キッチン全体の使い方　P.18

傷がつきにくいエンボス加工のステンレスシンク

ステンレスシンクには傷がつきにくく、目立ちにくいエンボス加工を施しています。

参照 4.2. ステンレスシンク　P.22

ステンレスシンクはセラミック特殊コーティング

ステンレスシンクは水アカなどのしつこい汚れも簡単に落とせる、特殊コーティングを施しています。

参照 4.2. ステンレスシンク　P.22

使いたいものがすぐ手に取れる“うきうきポケット”

引出しの手前側にポケットがつきました。ポケットは引出しを開けると、手が届く位置まで浮き上がってきます。かがむことなく中のものが取り出せて便利です。

参照 5.1. キャビネットの収納例　P.30
5.2. キャビネット（うきうきポケット）　P.32

足元のスペースを有効に使える“フロアコンテナ”

クリナップが開発した、自慢の足元収納スペースです。置き場所に困りがちなストック品や、季節使いの調理器具をまとめてしまっておけます。

もくじ

本書について

- キッチンには様々な形状のものがあるため、お客様がご利用の商品と異なる場合があります。
- 本書では、使用上支障のない範囲で略図を使用しています。
- シンクやキャビネットなどのアイテムごとに構成しています。各アイテムに関するページには、「使用上の注意」「お手入れのしかた」などの情報を記載しています。
- 「Q&A」にはお客様からよくあるお問い合わせをまとめています。疑問点、不明点がある場合にご覧ください。

1. ご利用の前に ・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
1.1. 各アイテムのなまえ 4
1.2. お手入れスケジュール 6
1.3. 定期的な点検 7

2. 安全上の注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
2.1. 安全上の注意 8
2.2. 重量に関する規定 16

3. キッチン全体の使い方 ・・・・・・・・・・・・ 18
3.1. キッチン全体の使い方 18

4. 調理アイテムの使い方 ・・・・・・・・・・・・ 20
4.1. ワークトップ 20
4.2. ステンレスシンク 22
4.3. 人工大理石シンク 24
4.4. 排水口まわり 26
4.5. シンク用アクセサリーパーツ 28

5. 収納アイテムの使い方 - キャビネット・・・・・ 30
5.1. キャビネットの収納例 30
5.2. キャビネット（うきうきポケット） 32
5.3. キャビネット（引出し） 34
5.4. 包丁差し 36
5.5. まな板ラック 38
5.6. スライドボックス付キャビネット 39
5.7. ワゴン付コーナーキャビネット 40
5.8. ボトル用スライドキャビネット 41
5.9. 開き扉・引出し前板・棚板 42
5.10. キャビネット用オプションパーツ 45

6. 収納アイテムの使い方 - 吊戸棚・・・・・・・・ 49
6.1. 使用上の注意、お手入れのしかた 49
6.2. アイエリアボックス 49
6.3. ムーブダウン吊戸棚 51
6.4. プルダウン吊戸棚 52
6.5. フラップ扉吊戸棚 53

7. 収納アイテムの使い方 - キッチン周辺収納・・ 54
7.1. システムエリア収納・バーチカルスライド収納 54
7.2. リサイクルゴミワゴン 55
7.3. ステップコンテナ 56
7.4. 家電収納庫 57
7.5. 扉付トール家電収納庫 58

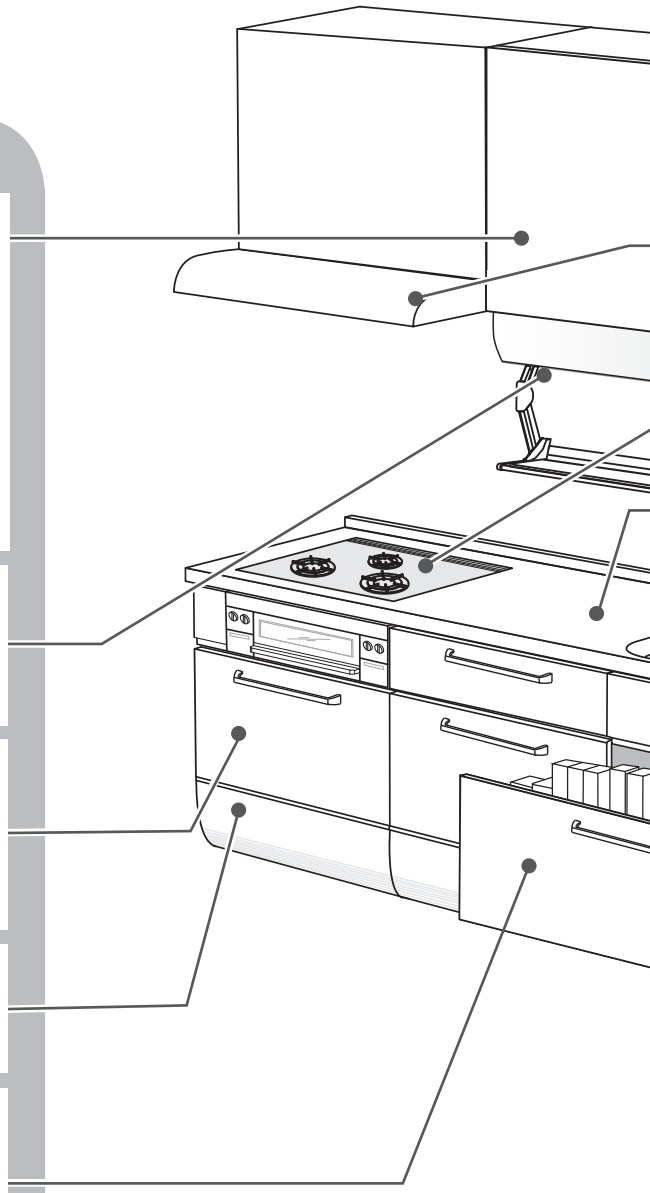
8. 対面型キッチン・その他部材 ・・・・・・・・ 59
8.1. ステップ対面用マガジンラック 59
8.2. フロントスクリーン 59
8.3. 壁パネル・アシストラック 60
8.4. 照明器具 61

9. こんなときは ・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
9.1. Q&A 62

保証書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63

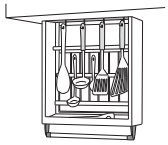
1.1. 各アイテムのなまえ

各アイテムの名称と参照先は、下図のとおりです。

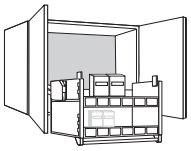


収納アイテム

吊戸棚



プルダウン吊戸棚



ムーブダウン吊戸棚

参照
- 安全上の注意：吊戸棚　P.12
- 重量に関する規定：プルダウン吊戸棚、ムーブダウン吊戸棚　P.16
- 使い方：収納アイテムの使い方－吊戸棚　P.49

アイエリアボックス

参照
- 安全上の注意：アイエリアボックス　P.12
- 重量に関する規定：アイエリアボックス　P.16
- 使い方：吊戸棚収納 - アイエリアボックス　P.49

キャビネット

参照
- 安全上の注意：キャビネット　P.10
- 重量に関する規定：キャビネット　P.16
- 使い方：キャビネット　P.34
- 収納例：キャビネットの収納例　P.30

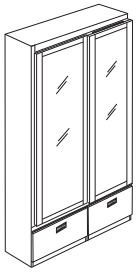
フロアコンテナ

参照
- 安全上の注意：フロアコンテナ　P.11
- 収納例：キャビネットの収納例　P.30

うきうきポケット

参照
- 安全上の注意：うきうきポケット　P.11
- 重量に関する規定：うきうきポケット　P.16
- 使い方：キャビネット（うきうきポケット）　P.32
- 収納例：キャビネットの収納例　P.30

キッチン周辺収納

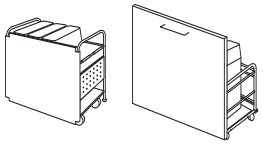


システムエリア収納

参照
- 使い方：システムエリア収納・バーチカルスライド収納　P.54

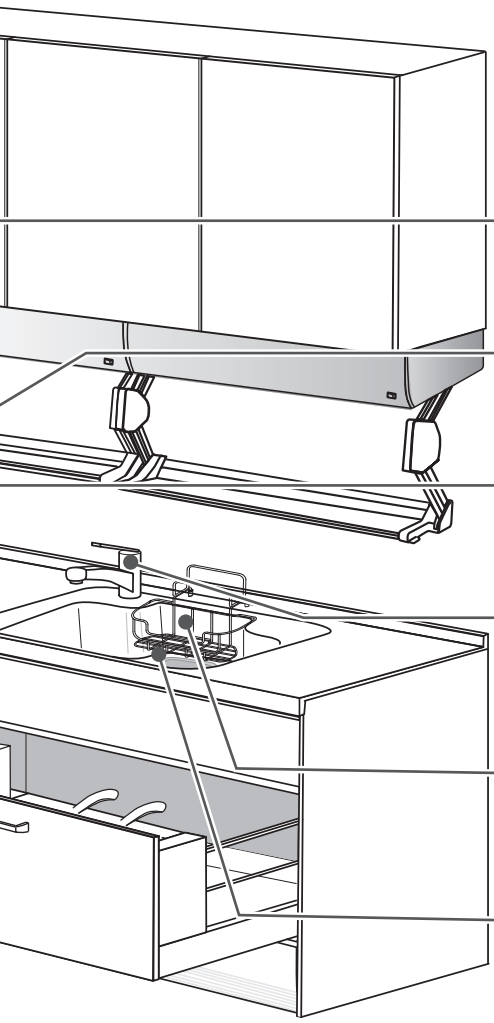
バーチカルスライド収納

参照
- 安全上の注意：P.8
- 使い方：システムエリア収納・バーチカルスライド収納　P.54



リサイクルゴミワゴン

参照
- 重量に関する規定：キッチン周辺収納　P.17
- 使い方：リサイクルゴミワゴン　P.55



調理アイテム

レンジフード
参照 ・使い方：別冊の専用取扱説明書をご覧ください。

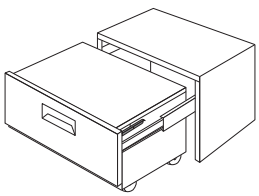
調理機器
参照 ・安全上の注意：調理機器・組込機器類　P.9
・使い方：別冊の専用取扱説明書をご覧ください

ワークトップ
参照 ・使い方：ワークトップ　P.20

水栓
参照 ・安全上の注意：水栓　P.10
・使い方：別冊の専用取扱説明書をご覧ください

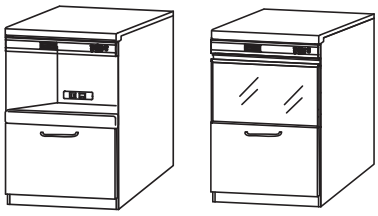
シンク
参照 ・安全上の注意：シンク　P.9
・使い方：ステンレスシンク　P.22、人工大理石シンク　P.24

排水口
参照 ・使い方：排水口まわり　P.26



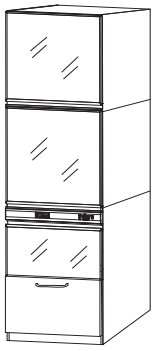
ステップコンテナ

参照
・安全上の注意：ステップコンテナ　P.13
・重量に関する規定：キッチン周辺収納　P.17
・使い方：ステップコンテナ　P.56



家電収納庫

参照
・安全上の注意：扉付家電収納庫　P.13
・重量に関する規定：キッチン周辺収納　P.17
・使い方：家電収納庫　P.57



扉付トール家電収納庫

参照
・安全上の注意：扉付トール家電収納庫　P.13
・重量に関する規定：キッチン周辺収納　P.17
・使い方：扉付トール家電収納庫　P.58

1.2. お手入れスケジュール

お手入れスケジュールのすすめ

- 毎日使うキッチンは、こまめなお手入れが欠かせません。次のスケジュールを参考に、お客様の生活に合わせたお手入れ計画を立ててください。
- 調理機器、レンジフード、水栓、浄水器などの関連機器商品について詳しい内容は、別冊の専用取扱説明書をご覧ください。

年間お手入れスケジュール例

期　間	お手入れ内容
毎日	・シンク・ワークトップ：水滴などの軽い汚れを拭き取る。 ・排水口：浅型カゴにたまったゴミを捨てる。 ・引出し前板・開き扉：水滴や油汚れを拭き取る。 ・調理機器のトッププレート：煮こぼれや水滴などの軽い汚れを拭き取る。 ・調理機器のグリル：使用後、油汚れを中性洗剤をつけたスポンジで洗う。 ・レンジフード：手の届く範囲の汚れを拭き取る。
週一度	・シンク：メラミンフォーム（例：レック株式会社　激落ちくん）で洗う。 ・ワークトップ：中性洗剤をつけて洗う。 ・水栓金具：水滴などの軽い汚れを拭き取る。 ・ガスコンロのゴトク：こびりつき汚れを洗う。 ・引出し前板・開き扉・取っ手：汚れを中性洗剤で拭き取った後、乾拭き。 ・壁パネル：油はねなどの汚れを中性洗剤をつけたスポンジで洗う。
月一度	・排水口：防臭パイプを取り出して、中までしっかり洗う。 ・レンジフード：フィルターなどを中性洗剤をつけたスポンジで洗う。
半年～年一度	・レンジフード：ファンを取り外して洗う。 ファンを取り外さないものもあるので、詳しい内容は専用取扱説明書をご覧ください。 ・浄水器：カートリッジ交換を忘れずに行う。 交換時期については専用取扱説明書をご覧ください。

MEMO　洗剤の使い方によっては手荒れの原因になります。ゴム手袋をはめるなど、気をつけてご利用ください。

気づいたらすぐに

次のような場合、気づいたときにすぐに対処するようにしてください。

- シンクやワークトップの水あかの付着やもらいサビがあった場合、すぐに対処してください。

参照　ワークトップ　P.20、ステンレスシンク　P.22、人工大理石シンク　P.24、Q＆A　P.62

- ガスコンロのバーナーキャップに目詰まりがある場合、すぐに対処してください。
- 水の出が悪くなった場合、水栓のストレーナー（ろ過用の金具）をチェックしてください。

参照　ガスコンロ、水栓金具について詳しい内容は別冊の専用取扱説明書をご覧ください。

- 汚れを見つけたら、すぐに拭き取ってください。そのまま放置すると、汚れが取りにくくなります。
- 床にこぼれた水はこまめに拭くようにしてください。

1.3. 定期的な点検

定期的な点検のすすめ

商品は長期間ご利用いただくことで、経年劣化してきます。安全にお使いいただくために、定期的に水漏れ点検と安全点検を行ってください。水漏れ点検は月一度、安全点検は年一度が目安です。

水漏れ点検

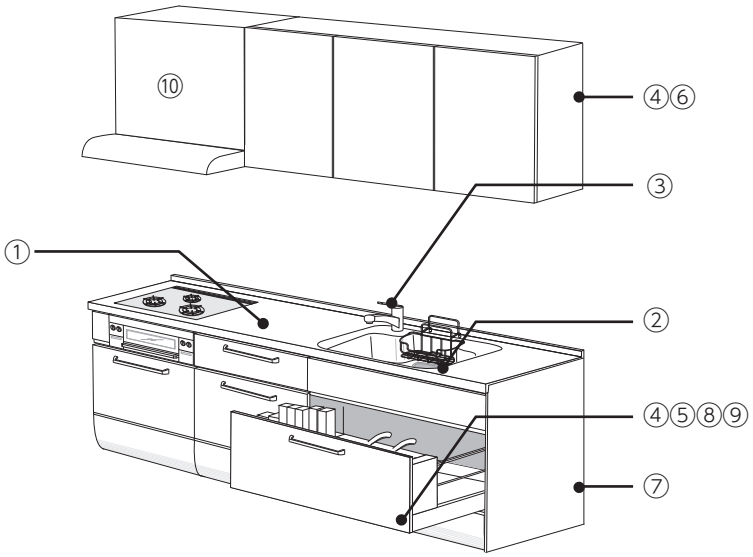
キャビネット内に水漏れがないか点検してください。点検する場所は、主に以下のとおりです。

- 配水管まわり
- 排水口まわり
- 水栓
- 食器洗い乾燥機

水漏れがあった場合、元栓や止水栓を締め、クリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

参照 アフターサービスのご用命（クリナップカスタマーセンター） 裏表紙

安全点検



点検箇所	症状	想定される被害
①ワークトップ・シンク	穴空きやひび割れ	水漏れによるキャビネットおよび家財の破損、破損部接触によるケガ
②排水器具	排水接続部のゆるみ、破損	水漏れ
③水栓	本体やレバーのがたつき	水漏れ
	温度調整ができない	やけど
	金属メッキ部のはく離	はく離したメッキによるケガ
④扉	変形やガタつき	落下によるケガおよび家財の破損
	ひび割れや表面のはがれ	破損部接触によるケガ
⑤取っ手	表面のはがれ	破損部接触によるケガ
⑥吊戸棚	棚板の変形、がたつき	落下によるケガおよび家財の破損
⑦キャビネット	キャビネット内部配管部品のゆるみ、破損	水漏れによるキャビネットおよび家財の破損
⑧引出し	変形やがたつき	落下によるケガおよび家財の破損
⑨包丁差し	がたつき	包丁差しおよび包丁自体の落下によるケガ
⑩レンジフード	幕板、整流板、フィルターのがたつき	落下によるケガおよび家財の破損
⑪食器洗い乾燥機	水漏れ	水漏れによるキャビネットおよび家財の破損

点検の結果、不備あった場合は、クリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

参照 アフターサービスのご用命（クリナップカスタマーセンター） 裏表紙

2.1. 安全上の注意

- 安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

⚠警告 この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡や重症を負う恐れがある内容」が記載されています。

⚠注意 この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物理的損害が生じる恐れがある内容」が記載されています。

禁止：この行為は禁止されています。	注意：この行為は、注意が必要です。
必ず実行：この行為を必ず実行してください。	手をはさまれないよう注意：引出しや扉などで手をはさむことで、傷害が起こる可能性があります。
接触禁止：特定の条件で特定の場所に触れると、傷害が起こる可能性があります。	発火注意：特定の条件で発火の恐れがあります。
ぬれ手禁止：製品をぬれた手で扱うと感電する恐れがあります。	高温注意：特定の条件で、高温による傷害の恐れがあります。

⚠警告

発火注意 電源コンセントの表示容量（ワット）を超える電気器具を使わない。

発熱により、火災の原因になります。

発火注意 調理機器の使用後および外出時には、スイッチを切る。

周囲の可燃物に着火し、火災の原因になります。

発火注意 調理機器の上や周りには、燃えるものを置かない。

周囲の可燃物に着火し、火災の原因になります。

発火注意 調理機器を使っているときは、その場を離れない。

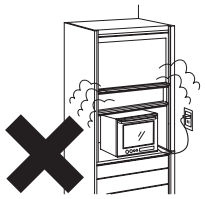
高温になりすぎて、火災の原因になります。

発火注意 キャビネット内や家電収納庫などのスライド台に電気コンロ、ガスコンロ、ガス炊飯器などの加熱調理機器を置いて使用しない。

キャビネットが加熱し、火災の原因になります。

発火注意 バーチカルスライド収納内に蒸気を発生させる電気製品を置いて使用しない。

キャビネットの変形・変色や、火災の原因になります。



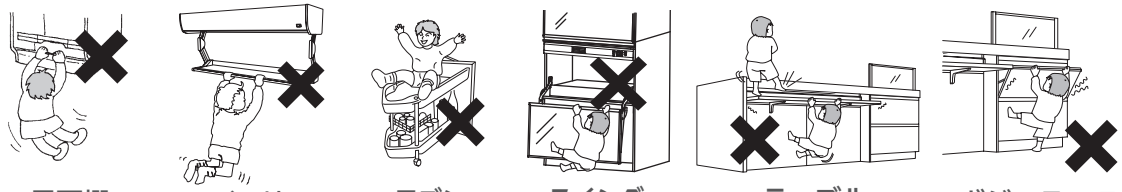
⚠注意

キッチン全体

禁止

取っ手、扉、化粧板、棚、ラック、ワゴン、テーブルなどにぶら下がったり、体重をかけたりしない。

破損し、ケガをする恐れがあります。



吊戸棚　アイエリアボックス　ワゴン　スイングダウン扉　テーブル　マガジンラック

ぬれ手禁止

ぬれた手で電気製品を触らない。電気製品に水をかけない。

感電や故障の恐れがあります。

必ず実行

引出しの取り外し、取り付け、調整などをする場合や、キャビネット内のお手入れをする場合は、引出しレールや部品などに十分注意して行う。

手や指などにケガをする恐れがあります。

禁止

ワークトップやキャビネット、扉、パネルなどに加工や改造をしない。

故障や破損の原因になります。

必ず実行

床面に油などが飛び散ったらすぐに拭き取る。

足を滑らせて転び、ケガをする恐れがあります。(特に対面キッチンのダイニング側に注意してください。)

調理機器・組込機器類

必ず実行

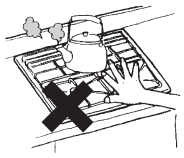
キッチンに組み込まれている機器、市販の調理機器などは、商品に付属の取扱説明書および商品本体に表示されている事項を守る。

使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になります。

接触禁止

調理中や調理直後は、調理機器周辺に手を触れない。

やけどの恐れがあります。



シンク

禁止

シンクにまな板を渡した状態で、カボチャなどの硬いものや切りにくいものを切らない。

まな板がシンクから外れて、ケガをする恐れがあります。ワークトップ上で作業をしてください。

禁止

てんぷら油や多量の熱湯を、直接排水口に流さない。

排水器具などが変形し、水漏れの原因になります。また、てんぷら油などは、排水管のつまりの原因になります。

2.1. 安全上の注意

⚠注意

水栓

必ず実行

混合水栓を使用する場合は、必ず水を先に出す。

湯を先に出すと、水栓および熱湯で、やけどをする恐れがあります。特に、お子様には注意してください。

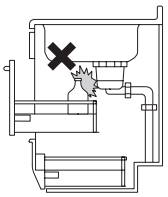
キャビネット

●シンクキャビネット

必ず実行

シンク下の引出しに収納する場合は、排水器具と接触しないように、収納物の高さに注意する。

接触すると、排水器具が破損する恐れがあります。



必ず実行

包丁差しの固定ねじがゆるんでガタつきが発生したときは、ねじを締め直す。

包丁差しが外れてケガをする恐れがあります。

必ず実行

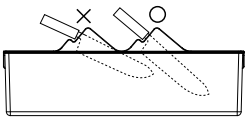
包丁差しを取り付けるときは止め具、ピン、底板の突起が正しい位置にはまっていることを確認する。

包丁差しが外れてケガをする恐れがあります。参照 5.4. 包丁差し P.36

必ず実行

包丁差込口に、確実に包丁を差し込む。

扉を引き出したときに包丁が外れ、ケガをする恐れがあります。
特に、右図のような斜めに包丁を入れるタイプの場合は、段差に柄の部分が掛かるように収納してください。



禁止

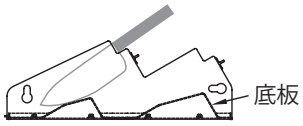
包丁を無理に引っ張らない。

勢いよく包丁が抜け、ケガをする恐れがあります。包丁が抜けないときは一度正しい収納位置に戻し、ロックが外れていることを確認してからまっすぐに引き抜いてください。

必ず実行

うきうきポケットなし用包丁差しは必ず底板を取り付けて使用する。

底板の上に刃を載せて使用してください。包丁の刃が露出し、ケガをする恐れがあります。



禁止

包丁を差したまま包丁差しや引出しのお手入れを行わない。

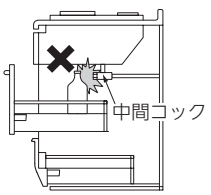
包丁の刃に触れ、ケガをする恐れがあります。お手入れは包丁を取り出してから行ってください。

●コンロキャビネット

必ず実行

コンロ下の引出しに収納する場合は、ガス栓（中間コック）と接触しないように、収納物の高さに注意する。

接触すると、ガス栓が閉じたり破損したりする恐れがあります。



●ワゴン付コーナーキャビネット

禁止

ワゴンを勢いよく動かさない。

ワゴンが転倒してケガをする恐れがあります。特に、床下収納庫など床に段差のある部分を移動する場合は、手でしっかり支えながら移動してください。

禁止

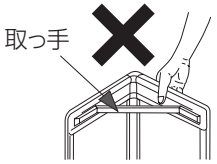
ワゴン周辺にキッチンマットや毛足の長いじゅうたんを敷いて使用しない。

ワゴンに毛がからまり、転倒してケガをする恐れがあります。

手をはさまれないよう注意

ワゴンをキャビネットから出し入れする場合は、必ず取っ手部分を持つ。

扉部分などを持って出し入れすると、手や指をはさむ恐れがあります。

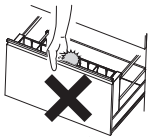


●うきうきポケット

手をはさまれないよう注意

うきうきポケット付引出しを開ける場合は、必ず取っ手部分を持つ。

扉部分を持って開けると、ポケットと扉の間に指をはさむ恐れがあります。

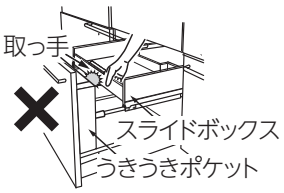


●スライドボックス

手をはさまれないよう注意

スライドボックスを開ける場合は、必ず取っ手部分を持つ。

スライドボックスの前板を持って開けると、うきうきポケットとスライドボックスに指をはさむ恐れがあります。



●フロアコンテナ

禁止

フロアコンテナを引き出して、足場代わりにしない。

転倒によるケガや、商品の破損の恐れがあります。

禁止

フロアコンテナを引き出したまま作業しない。

足をぶつけたり、手に持っているものを落としたりして、ケガをする恐れがあります。

注意

フロアコンテナを引き出す場合は、足元に注意して引き出す。また、他の作業者やお子様など、周囲の人にも注意する。

足の指をはさむ恐れがあります。

禁止

引出しを開けたまま、フロアコンテナを引き出さない。

指をはさんだり、引出しやフロアコンテナの破損の恐れがあります。

●開き扉、引出し

必ず実行

開き扉が傾いたり、ガタついているときは、丁番のねじを締め直す。

扉が落ちて、ケガをする恐れがあります。参照 5.9. 開き扉・引出し前板・棚板　P.42

手をはさまれないよう注意

開き扉開閉時は、丁番には触れないようにする。

丁番に指をはさむ恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。

手をはさまれないよう注意

引出しの開閉時は、ワークトップや引出しの扉上部に手をかけない。

ワークトップと扉の間に指をはさむ恐れがあります。

2.1. 安全上の注意

⚠注意

吊戸棚

●棚板

必ず実行

棚受けダボは確実に奥まで差し込む。

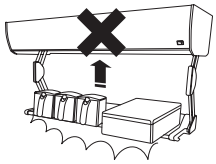
棚板が落下して、ケガをする恐れがあります。

●プルダウン吊戸棚・ムーブダウン吊戸棚・アイエリアボックス共通

必ず実行

収納物は、昇降させたときにぶつからないように収納する。

収納物の落下によるケガや、ラック、キャビネットの破損の恐れがあります。



禁止

割れやすいもの、不安定なもの、包丁・薬品・熱せられた調理道具などの危険なものを収納しない。

収納物が落下し、ケガをする恐れがあります。また、ムーブダウン吊戸棚の場合は高さガイドバーより高いものを収納しないでください。

手をはさまれないよう注意

操作部以外に手をかけない。また、機構部や本体のすき間に手を入れない。

手をはさむ恐れがあります。

禁止

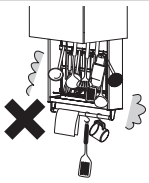
勢いよく昇降しない。

収納物が落下し、ケガをする恐れがあります。また、故障の原因になります。

禁止

操作レバーにものを引っ掛けない。

収納物が落下し、ケガをする恐れがあります。また、故障の原因になります。



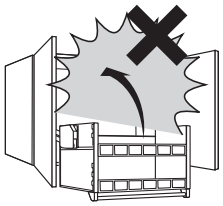
●ムーブダウン吊戸棚

必ず実行

バネ切り替えレバーは、収納重量に対して適切にセットする。

収納ラックが勢いよく戻ったり、急降下して収納物が落下したり、収納ラックが変形・落下したりして、ケガをする恐れがあります。

参照 6.3. ムーブタウン吊戸棚　P.51



●アイエリアボックス

必ず実行

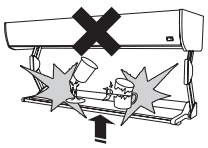
棚は降ろしきった状態で使用する。

収納物が落下し、ケガをする恐れがあります。

禁止

水切り棚上にものを置いたまま閉めない。

収納物が破損し、破片でケガをする恐れがあります。



キッチン周辺収納

●ステップコンテナ

必ず実行

ロック音が鳴るまで完全に引き出し、押しても戻らないことを確認後、足元に注意して静かに乗り降りする。また、引き抜いて単独で使用しない。

滑ったり、転倒してケガをする恐れがあります。

禁止

ステップコンテナを引き出したまま作業しない。

つまずいて転倒したり、足をぶつけたりしてケガをする恐れがあります。使用後は、必ずキャビネットに収納してください。

禁止

スリッパや履き物を履いたまま乗らない。また、ストッキングなどの滑りやすい靴下を履いて乗るときには十分注意する。

つまずいたり、滑ったりして、ケガをする恐れがあります。

禁止

お子様や、お体の不自由な方は使用しない。
また、お子様を遊ばせたりしない。

転倒するとケガをする恐れがあります。

必ず実行

出し入れする真下のステップコンテナを使用する。

引き出したステップコンテナから遠い位置にある収納物を出し入れすると、姿勢が不安定になり、収納物を落としたり、ケガをしたりする恐れがあります。

●扉付家電収納庫・扉付トール家電収納庫（下台）

手をはさまれないよう注意

スイングダウン扉を降ろす際は、機構部に手を入れない。

手をはさみ、ケガをする恐れがあります。

手をはさまれないよう注意

スイングダウン扉に手を掛けたままスライド台を引き出さない。また、スライド台の下側を持って引き出さない。

手をはさみ、ケガをする恐れがあります。

●扉付トール家電収納庫（中台）

接触禁止

オーブンレンジ使用後は、取っ手以外の扉周辺部に触れない。

オーブンレンジからの熱で熱くなり、やけどの恐れがあります。

2.1. 安全上の注意

対面型キッチン

接触禁止

調理中や調理直後はフロントスクリーンや防熱板に手を触れない。

調理機器からの熱などで熱くなり、やけどの恐れがあります。

禁止

コンロ側が通路になっているレイアウトのキッチンは、鍋やフライパンなどの柄に手を引っ掛けないようにする。

鍋やフライパンなどが落下して、ケガややけどの恐れがあります。

その他部材

●フロントスクリーン

禁止

ガラスに強い衝撃をあたえない。また、硬いもの・鋭利なものをあてない。

傷がつくとガラスが割れてケガをする恐れがあります。

禁止

フロントスクリーンのガラスやフレームに寄りかかったりしない。

ガラスが割れてケガをする恐れがあります。また、フレームが変形する恐れがあります。

●照明器具

必ず実行

蛍光ランプがソケットに確実に取り付けられているか確認する。

蛍光ランプが脱落して破損し、ケガをする恐れがあります。

接触禁止

点灯中や消灯直後(約 5 分間)は蛍光ランプが高温になっているので、素手で触らない。

やけどの原因になります。

●コンセント

必ず実行

時々電源プラグを抜いて拭き取り、ホコリがたまらないようにする。

ホコリがたまると発火の恐れがあります。特に湿気の多い場所のコンセントに注意してください。

洗剤

台所で使われる洗剤・洗浄具・殺虫剤・防腐剤・その他薬品類は、それぞれの容器などに表示されている事項を守る。

使い方を誤ると、人体に悪影響を及ぼしたり、キッチン本体や機器類が傷み、水漏れ事故や故障の原因になります。

固形または粉末の塩素系の洗浄剤（ヌメリ取り剤など）を使用したり、近づけたりしない。

水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレスなどの金属やゴムの腐食・劣化およびサビを発生させ、水漏れにつながる恐れがあります。

台所では成分表示のない洗剤類、台所以外の用途である洗剤類は使用しない。

キッチン本体が傷み、水漏れ事故や故障の原因になります。

2.2. 重量に関する規定

⚠注意

収納アイテム

必ず実行

収納アイテムに、収納物をつめ込みすぎない。

収納物の落下によるケガや、棚板や引出しの変形・破損につながります。

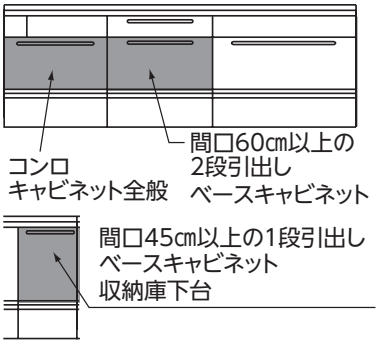
●キャビネット、棚板

必ず実行

キッチンの引出し、吊戸棚や各キャビネットへの収納は、下表の耐荷重以下として、収納物を平均に載せる。

重量が限度を上回ったりかたよったりすると、棚板や引出しの破損につながったり、載せているものが落ち、ケガをする恐れがあります。

部位	耐荷重
棚板一枚	20 kg
アミカケ黒塗り部引出し 1 段	40 kg
アミカケ黒塗り部引出し 1 段（配管スペース有、奥行 60cm）	20 kg
アミカケ部以外の引出し 1 段	20 kg
シンクキャビネット用スライドボックス	8 kg
ベースキャビネット用スライドボックス	10 kg
間口 15 cm のスライドキャビネット	10 kg
ボトル用スライドキャビネット	20 kg



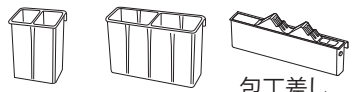
MEMO 20 kg ＝直径 26 cm の大皿 25 枚以内が目安です。

●うきうきポケット

必ず実行

収納量は、ポケットの上面に記されている耐荷重以下とする。

限度以上収納すると、うきうきポケットが故障したり、破損したりする恐れがあります。



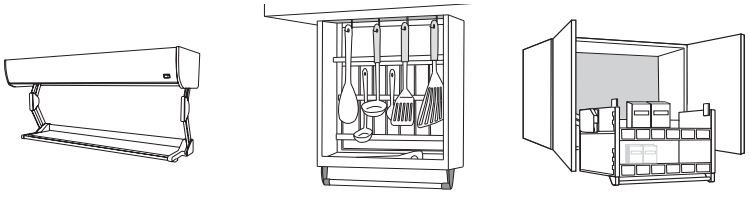
●アイエリアボックス・プルダウン吊戸棚・ムーブダウン吊戸棚

必ず実行

収納量は、下表の耐荷重以下とする。

限度以上収納すると、変形や落下の原因になります。

部位		耐荷重
アイエリアボックス	水切りカウンタータイプの一時置き	10 kg
	調味料棚タイプ	3 kg
プルダウン吊戸棚	レードルラックタイプ（間口 45 cm）	1 kg
	調味料棚タイプ（間口 45 cm）	2 kg
	調味料棚タイプ（間口 30 cm）	1.5 kg
ムーブダウン吊戸棚		15 kg



アイエリアボックス　プルダウン吊戸棚　ムーブダウン吊戸棚

●ワゴン付コーナーキャビネット

必ず実行

収納量は、下表の耐荷重以下として、収納物を平均に載せる。

特に、ワゴンの場合、下記の限度以上収納したり、上段に重いものを載せてかたよったりすると、転倒する恐れがあります。

部位		耐荷重
コーナーワゴン	上段、下段それぞれ	10 kg
	中段の網棚	5 kg
デルタトレー	上段、下段それぞれ	10 kg

コーナーワゴン

デルタトレー

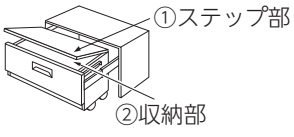
キッチン周辺収納

必ず実行

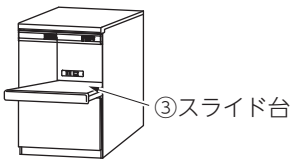
収納量は、下表の耐荷重以下とする。

限度以上収納すると、変形・落下・破損や、ケガの原因になります。

部位		耐荷重
ステップコンテナ	①ステップ部	100 kg
	②収納部	20 kg
家電収納庫、扉付トール家電収納庫(下台)	③スライド台	15 kg
リサイクルゴミワゴン	④リサイクルゴミワゴン全体	20 kg
	⑤ポリ袋ストッパー	5 kg
	⑥ダストボックス	5 kg



ステップコンテナ



家電収納庫
扉付トール家電収納庫(下台)

リサイクルゴミワゴン

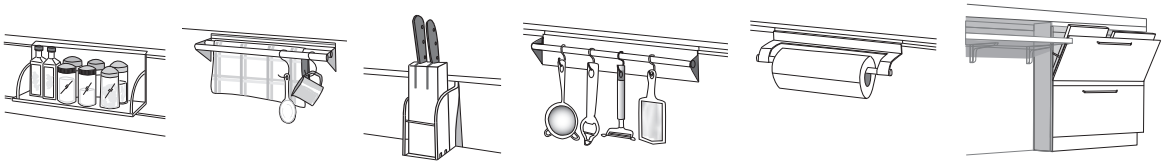
対面型キッチン、その他部材

必ず実行

収納量は、下表の耐荷重以下とする。

限度以上収納すると、変形する恐れがあります。

部位		耐荷重
アシストラック	①調味料ラック	3 kg
	②ふきんラック、マルチスタンド	2 kg
	③包丁ラック	1 kg
	④ハンギングラック	4 kg
	⑤ペーパーラック	2 kg
ステップ対面	⑥マガジンラック	10 kg



①調味料ラック ②ふきんラック ③包丁ラック ④ハンギングラック ⑤ペーパーラック ⑥マガジンラック

3.1. キッチン全体の使い方

使用上の注意

●ステンレス部品

禁止

ステンレス部品の上にぬれた包丁・缶詰・塩・醤油、または鉄製タワシなどステンレス以外の金属を長時間放置しない。

もらいサビを引き起こし、腐食して穴が開く恐れがあります。

禁止

ステンレス部品には、塩素系の洗剤は使用しない。また、塩分を含む調味料や金属製品を放置しない。

サビの原因になります。

●樹脂部品

禁止

樹脂部品に洗浄力の強い洗剤成分、または油煙などの油成分を付着したまま放置しない。

しみ・変色、ひびや破損の原因になります。必ず拭き取ってください。

禁止

樹脂部品に油脂類、シンナー、酸性の洗剤、塩素系やアルカリ性の洗剤などは使用しない。

ひびや破損の原因になります。

●開き扉・引出し前板・化粧板・棚板・取っ手

禁止

家具用ワックス、シンナー・ベンジンなどの有機溶剤、カビとり剤などを使用しない。

変色・つやや光沢がなくなったり、塗装がはがれる原因になります。

禁止

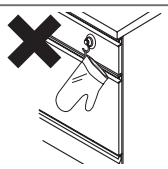
開き扉・引出し前板に水をかけたまま放置しない。

表面のふくれの原因になります。

禁止

開き扉・引出し前板やパネルなどにテープや吸盤などを長期間取り付けたままにしない。

変色やはがれ、ふくれなどの恐れがあります。



禁止

開き扉・引出し前板やパネルなどをメラミンフォームや金属タワシ、研磨粒子入り洗浄具などでお手入れしない。

変色・つやや光沢がなくなったり、塗装がはがれる原因になります。

●キャビネット

必ず実行

キャビネット内に洗剤等を保管する場合は、必ず密閉し、液垂れしないようにする。

サビの原因になります。

注意

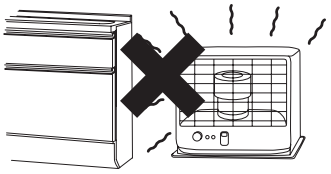
室内の温度や調理機器の使用時間・使用方法等によってコンロキャビネットおよび隣接するキャビネットの庫内温度が上昇するので、収納物の保存には留意する。

温度変化によって劣化しやすい調味料や食材の保存や、長期保存は避けてください。保存にあたっては、調味料や食材に記載の保存方法に従ってください。

禁止

ストーブ・暖房器具などを近づけない。

キャビネットや扉などの反りや変形の恐れがあります。



注意

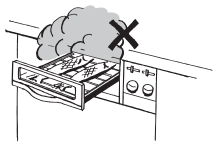
ワークトップ、カウンター上に炊飯器を置いて使う場合、吊戸棚・アイエリアボックスに直接蒸気がかからないように留意する。

結露により水滴がつき、キャビネットの塗装がはがれたり、ふくらんだりする恐れがあります。水滴を乾いた布で拭き取ってください。

禁止

調理機器のグリル扉を開けたまま使わない。

機器上部の変色やワークトップの焦げや破損、隣接する部材の変形などの恐れがあります。



お手入れのしかた

キャビネット・ステンレス部品・樹脂部品・開き扉・引出し前板・パネル・棚板・取っ手

通常のお手入れ

・綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。

汚れた場合のお手入れ

・汚れは、薄めた中性洗剤をスポンジなどに含ませて落とし、水を含んだ布で洗剤を拭き取った後、乾いた布で乾拭きしてください。

注 意 ステンレス扉の場合は、汚れや指紋をつきにくくするためにコーティングが施されています。お手入れ、汚れ落としは、傷をつけないよう注意してください。

開き扉・引出し前板やパネル、樹脂部品などはメラミンフォーム（例：レック株式会社 激落ちくん）や金属タワシ、研磨粒子入り洗浄具などでお手入れしないでください。変色・つやや光沢がなくなったり、塗装がはがれる原因になります。

シースルー扉のお手入れ

・シースルー扉の半透明は、プラスチック（ポリスチロール）です。汚れた場合は、傷を避けるため、ほこりなどは柔らかいハケで払い落とし、綿などの柔らかい布で拭いてください。

注 意 シースルー扉には、ガラスクリーナーを使わないでください。表面が白く変色・変質したり、傷がつく恐れがあります。

4.1. ワークトップ

ワークトップにはステンレスのものと、人工大理石（アクリストン）のものと 2 種類があります。
- ステンレス：汚れに強く丈夫です。ステンレスの特徴を活かした 3 種類の柄があります。
- 人工大理石（アクリストン）：美しさと丈夫さを兼ね備え、豊富な色のバリエーションがあります。

使用上の注意

禁止

漂白剤、硫酸・塩酸などの強酸、シンナー・ベンジンなどの有機溶剤は使用しない。

変質・変色・サビの原因になります。

禁止

粒子の粗いクレンザー類 (研磨剤 20%より粗いもの) や金属タワシなどで、表面をこすらない。ワークトップをまな板代わりに使用しない。

傷がつく恐れがあります。

禁止

強い衝撃をあたえない。ワークトップに乗らない。

破損の原因になります。

禁止

ワークトップの上に熱い油鍋、沸騰したやかんなど、熱いものを直接置かない。

変色・変形・割れ・ふくれ（ステンレスワークトップの場合、裏面接着剤のはがれが原因）などの恐れがあります。万一、置く場合はなべ敷き（厚さ 1cm 以上）などを使用してください。

禁止

ワークトップの継ぎ目には、熱いものや重いものを長時間放置しない。

反り・ゆがみ・ひび割れ・表面波打ちの原因になります。

禁止

ワークトップの上に水滴や汚れを残したままにしない。

水あかや汚れが落としにくくなります。こまめに拭くようにしてください。

●ステンレスワークトップ

禁止

ぬれた包丁・塩・しょうゆ、または鉄製のタワシやステンレス以外の金属（缶詰など）を放置しない。

もらいサビを引き起こし、腐食して穴が開く恐れがあります。

必ず実行

ヘアライン仕上げが施されている場合は、食器や調理器具の置き方に注意する。

加工の目の方向と、垂直方向に傷がつくと目立ちます。鍋を置く場合は、鍋敷きをご利用ください。

●人工大理石（アクリストン）ワークトップ

禁止

アルカリイオン整水器・食器洗い乾燥機など、ゴム脚・樹脂脚がついているものやゴム製品を長期間設置しない。

接地面が変色してくることがあります。直接ワークトップに触れないよう、置き台などで工夫してください。

必ず実行

色の濃い食品（キムチ、カレー、紅茶、コーヒーなど）や色の濃いふきん類の染料、汚れ、またはアルカリ性洗剤・洗浄剤が付着した場合は、すぐに洗う。

長時間放置すると落としにくくなります。

お手入れのしかた

ステンレスワークトップのお手入れ

- 通常の汚れの場合は、水を含んだ布または中性洗剤をつけたスポンジで汚れを落としてください。洗剤を使った後は、水を含んだ布で洗剤が残らないようにきれいに拭き取ってください。最後に乾いた布で乾拭きをしてください。

注 意 ワークトップを部分的にお手入れすると、拭き取った部分が変色したように見える場合がありますが、変色ではありません。ワークトップ全体をお手入れするようにしてください。

- 落ちにくい汚れ（水あかなど）の場合は、中性洗剤をつけたメラミンフォーム（推奨品：レック株式会社　激落ちくん）、または粒子の細かいクレンザー（推奨品：ユニリーバジャパン株式会社　ジフなど）を使用してください。仕上げは、通常の汚れの場合と同様に行います。

MEMO ヘアライン仕上げの場合は、目の方向と垂直な方向に傷がつくと目立ちますので、ヘアラインの目と平行になるように拭いてください。

注 意 粒子の粗いクレンザー類（研磨剤 20%より粗いもの）は使用しないでください。傷がつく恐れがあります。

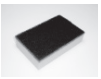
粒子の細かいクレンザー類を使う場合、ワークトップの目立たない部分で傷がつかないかを確認してください。

ステンレスシンク、排水プレートにはクレンザー類（研磨剤 20%以下の粒子の細かいクレンザーも含む）を使用しないでください。摩耗によってコーティングの性能が劣化する恐れがあります。

人工大理石（アクリストン）ワークトップのお手入れ

- 通常の汚れの場合は、水を含んだ布または中性洗剤をつけたスポンジで汚れを落としてください。洗剤を使った後は、水を含んだ布で洗剤を拭き取ってください。最後に乾いた布で乾拭きをしてください。
- 落ちにくい汚れの場合は、中性洗剤をつけたメラミンフォーム（推奨品：レック株式会社　激落ちくん）または粒子の細かいクレンザー（液体クレンザーなど）で円を描くように磨いてください。それでも落ちない場合は、研磨粒子入りの洗浄具（推奨品：住友スリーエム株式会社　スコッチ・ブライト　抗菌ウレタンスポンジたわしのナイロン不織布側（緑色側））、または 400 番くらいのサンドペーパーで円を描くように磨いてください。仕上げは、通常の汚れの場合と同様に行います。

メラミンフォーム



研磨粒子入り洗浄具

人工大理石（アクリストン）に傷がついたとき

- 傷がついた場合は、上記の落ちにくい汚れの場合と同様に磨いてください。
- 傷が取り切れない場合は、240 番くらいのサンドペーパーで磨いた後に、400 番くらいのサンドペーパーで円を描くように磨いてください。仕上げは、通常の汚れの場合と同様に行ってください。

MEMO 汚れや傷のお手入れをした箇所と、その周辺に光沢の違いが見られる場合は、液体クレンザーと水を含んだスポンジで、さらに全体を磨いてください。

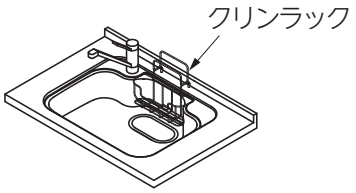
- さらに深い傷や欠けが発生した場合は、お買い求めの販売店、またはクリナップカスタマーセンターまでご連絡ください。傷・欠けの状況によっては、修理ができない場合もあります。

参 照 アフターサービスのご用命（クリナップカスタマーセンター）　裏表紙

4.2. ステンレスシンク

ステンレスシンクの底面は精巧なエンボス加工をしており、一般的な使用では傷はつきにくく、傷がついても目立ちません。
また、水アカなどの汚れが簡単に落としやすい、eコート（セラミック系の特殊コーティング）も施しています。

MEMO 側面はエンボス加工ではないので、傷の目立ち具合が異なります。



使用上の注意

禁止

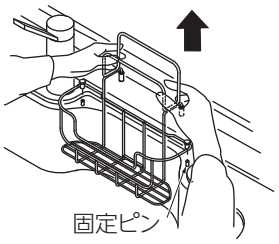
研磨剤入りの洗剤・研磨粒子入りの洗浄具（不織布など）や金属タワシなどで表面をこすらない。また、かたく鋭利なもの・砂・貝殻などを押し付けたり落としたりしない。

傷がつく恐れがあり、汚れが取りづらくなります。

禁止

ぬれた包丁・塩・しょうゆ、または鉄製のタワシやステンレス以外の金属（缶詰など）を放置しない。

もらいサビを引き起こし、腐食して穴が開く恐れがあります。



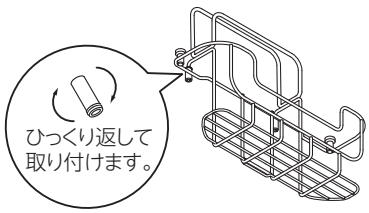
クリンラックの脱着

取り外し方

クリンラックの両端を持ち、上に持ち上げ、固定ピンから外す。

取り外すときは、洗剤やスポンジなどの収納物を取り出してから行ってください。

MEMO 人工大理石（アクリストン）ワークトップとステンレスシンク（排水口一体型を除く）の組み合わせの場合、樹脂キャップを上下ひっくり返して取り付けてください。樹脂キャップとワークトップの間にすき間が空かないことを確認してください。

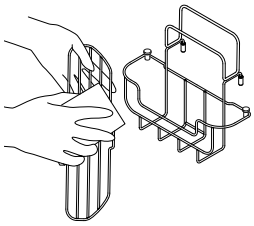


お手入れのしかた

ステンレスシンクのお手入れ

- 毎日のお手入れは、中性洗剤をつけたスポンジで汚れを落としてください。仕上げに、水で洗い流してください。
- 週に一度のお手入れは、メラミンフォーム（推奨品：レック株式会社　激落ちくん）を使ってください。美しいシンクを保つことができます。

注 意 汚れを長時間放置すると、こびり付いて落としにくくなります。



クリンラックのお手入れ

- 通常のお手入れは、綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れは、クリンラックを外し、中性洗剤をスポンジまたは水を含んだ布につけて、強めに拭いてください。汚れが落ちたら、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、最後に乾いた布で乾拭きしてください。

MEMO クリンラックは、一番汚れやすい洗剤やスポンジを置いている底面部分だけを外して、お手入れすることができます。

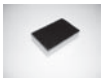
注 意 汚れが溜まったまま放置しないでください。ステンレスシンクのサビの原因になります。

ステンレスシンクで使用できる洗剤・洗浄道具

洗剤を使用する際は、以下の表にあてはまる洗剤・洗浄具を使用してください。「使用できるもの（○）条件付きで使用できるもの（△）」「使用できないもの（×）」を、品名別に参考事例を示しています。

MEMO 実際のご使用時には、洗剤・洗浄具に記載されている使用上の注意に従ってください。

洗剤・洗浄具

	使用判断	品名	液性・成分・材質	使用制限内容および ステンレスシンク、排水プレートへの影響	洗剤名・洗浄具名（参考事例）
洗剤	○	台所用洗剤	中性・弱アルカリ性・弱酸性洗剤		各種『ファミリーシリーズ』（花王） 各種『チャーミーシリーズ』（ライオン）
	△	台所用漂白剤（液状）	塩素系の漂白剤・洗浄剤やアルカリ性の洗剤	高濃度の原液使用や高温使用による長時間放置不可。（サビ・変色の恐れ）↓使用後すぐ十分に水洗いすれば問題なし。	各種『キッチンハイター（液状）』（花王） 各種『キッチンキレイキレイ（液状）』（ライオン）
		台所用漂白剤（泡状）			各種『キッチンハイター（泡状）』（花王） 各種『キッチンキレイキレイ（泡状）』（ライオン）
	× 使用不可	台所用クレンザー	研磨剤入りの洗剤（クレンザーなど）	ステンレスシンク、排水プレートの洗浄不可。（摩耗によるコーティングの性能劣化の恐れ）	研磨剤入りの洗剤
洗浄具	○	スポンジ、メラミンフォーム	スポンジ、メラミンフォーム		『ウレタンスポンジ下面』（ウレタン部） 『ネットつきスポンジ』 『激落ちくん』（レック）
	△	ナイロン不織布・金属タワシ	研磨粒子入りの洗浄具（不織布など）や金属タワシ	ステンレスシンク、排水プレートの洗浄不可。（傷・摩耗の恐れ）金属タワシの長時間放置不可。（もらいサビの恐れ）	 『スコッチ・ブライト抗菌ウレタンスポンジたわし（研磨粒子入り不織布側）』（住友スリーエム） 『金属タワシ』

シンク用以外の洗剤類（シンク用ではないが、シンク内で使われる可能性のある洗剤類）

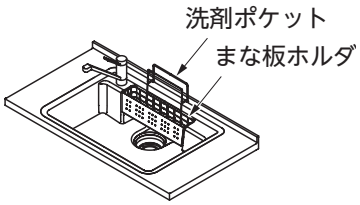
	使用判断	品名	液性・成分・材質	使用制限内容および ステンレスシンク、排水プレートへの影響	洗剤名・洗浄具名（参考事例）
排水パイプ用	○	台所まわり用合成洗剤	中性・弱アルカリ性・弱酸性洗剤		『ワイドマジックリン』（花王）※シンク洗浄には使わないでください。
	× 使用不可	排水パイプ用洗浄剤	ケイ酸塩（「オルトケイ酸ナトリウム」と成分表示している洗剤）	長時間接触による固着・変色の恐れ	
その他	× 使用不可	排水口洗浄剤	固形または粉末の塩素系の洗浄剤（ヌメリ取り剤など）	腐食・サビの恐れ	ヌメリ取り剤
		トイレ用洗浄剤など	酸性の洗浄剤（塩酸・硫酸・フッ酸などの強酸、研磨剤入りの酸性の洗浄剤）	サビ・変色の恐れ	

※上記の表以外の洗剤・洗浄具をご使用される場合は、用途・液性・成分が合致するものをお使いください。

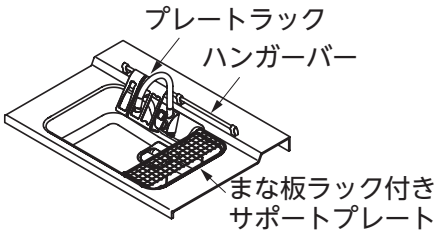
4.3. 人工大理石シンク

人工大理石シンクは、美しさと丈夫さを兼ね備えた、キッチン作業が楽しくなるカラフルなシンクです。高級感のあるすっきりとしたデザインのアクリストンシンクと柔らかなフォルムで清掃性の良いスワンシンクの2種類があります。

〈アクリストンシンク〉



〈スワンシンク〉

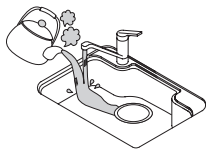


使用上の注意

禁止

熱湯を長時間流したり、頻繁に流さない。

変色の恐れがあります。熱湯を流す場合は、水栓から水を流しながら行ってください。



禁止

熱い油鍋をシンクの中に直接置かない。

変色・変形などの恐れがあります。

禁止

塩素系の漂白剤をスワンシンクのプレートラックの中に入れない。

液漏れにより、変質・変形する恐れがあります。

禁止

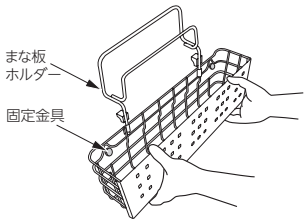
ゴム製品やゴム脚のついている製品やシンクマットを長時間置かない。 接地面が変色する恐れがあります。直接触れないよう、置き方を工夫してください。

必ず実行

色の濃い食品（キムチ、カレー、紅茶、コーヒーなど）や汚れや色の濃いふきん類の染料、またはアルカリ性洗剤・洗浄剤が付着した場合は、すぐに洗う。

長時間放置すると落としにくくなります。

洗剤ポケット（アクリストンシンク用）の脱着



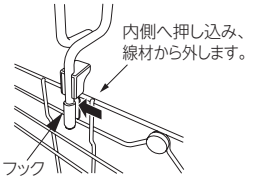
取り外し方

前面を持ち、上へ持ち上げる。

取り付け方

上から両端の固定金具に洗剤ポケットを引っ掛ける。

まな板ホルダー（アクリストンシンク用）の脱着



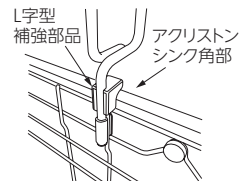
取り外し方

フック部分を内側押してフックを外し、洗剤ポケットからまな板ホルダーを外す。

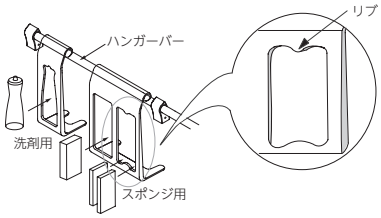
取り付け方

片側のフックを洗剤ポケットにはめ、もう片側のフックを内側に押し込みながら洗剤ポケットにはめる。

L字型補強部品をアクリストンシンクの角部に接するように取り付け、まな板ホルダーを動かしてみて、洗剤ポケットから外れないことを確認してください。



プレートラック（スワンシンク用）の使い方



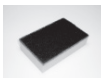
- プレートラックをハンガーバーに引っ掛け、洗剤やスポンジを立て掛けて使用します。
- 洗剤用プレートラックには洗剤が１本立て掛けられます。
- スポンジ用プレートラックにはリブ有り開口部に薄めのスポンジが２枚、リブ無しの開口部に厚めのスポンジが１枚入ります。

お手入れのしかた

人工大理石シンクのお手入れ

- 毎日のお手入れは中性洗剤をつけたスポンジで、汚れを落としてください。仕上げに、水で洗い流してください。
- 落ちにくい汚れの場合は、中性洗剤をつけたメラミンフォーム（推奨品：レック株式会社　激落ちくん）や粒子の細かいクレンザー（液体クレンザーなど)、または研磨粒子入りの洗浄具（推奨品：住友スリーエム株式会社　スコッチ・ブライト　抗菌ウレタンスポンジたわしのナイロン不織布側（緑色側)）で、円を描くように磨いてください。仕上げは、毎日のお手入れと同様に行います。

メラミンフォーム


研磨粒子入り洗浄具

注 意　底面以外の場所（側面など）には使用しないでください。つやがなくなり、傷がつく恐れがあります。
汚れを長時間放置すると、こびり付いて落としにくくなります。

- 傷がついた場合には、以下のページを参照してください。

参 照　人工大理石（アクリストン）に傷がついたとき　P21、
アフターサービスのご用命（クリナップカスタマーセンター）　裏表紙

洗剤ポケット（アクリストンシンク用）のお手入れ

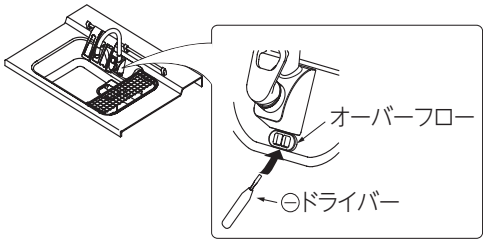
- 通常のお手入れは、綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れは、洗剤ポケットを外し、中性洗剤をスポンジまたは水を含んだ布につけて、強めに拭いて落としてください。汚れが落ちたら、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、最後に乾いた布で乾拭きしてください。
- 洗剤ポケットの前面部分は垂直方向に傷がつくと目立ちますので、汚れを落とすときは水平に拭いてください。

プレートラック（スワンシンク用）のお手入れ

プレートラックを外し、中性洗剤をスポンジまたは水に含んだ布につけて、優しく拭いてください。
タワシなどで強くこすらないでください。

オーバーフロー（スワンシンク用）のお手入れ

残飯などがオーバーフローをふさがないようにしてください。
万が一、中に入ってしまった場合には、水を流してください。
入り口付近につまってしまった場合には、オーバーフローの金具を外して取り除いてください。

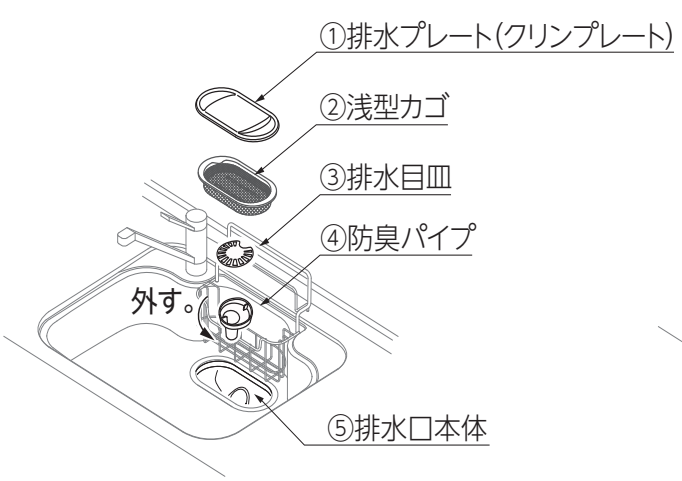


オーバーフロー下部の切り欠き部分を⊖ドライバーを使って押し上げると取り外せます。

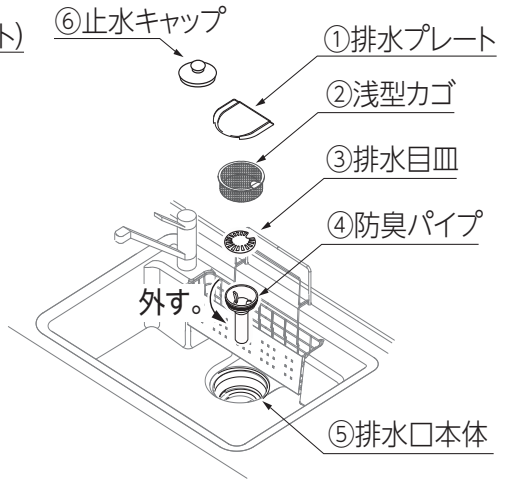
4.4. 排水口まわり

排水口の役割は調理クズを一時的にためることと、排水管からの悪臭防止、防虫をすることです。排水口一体型を除くステンレスシンク（標準タイプ）の場合と、人工大理石（アクリストン・スワン）シンク、排水口一体型ステンレスシンクの場合とで形状が異なります。

標準タイプステンレスシンク



人工大理石シンク、
排水口一体型ステンレスシンク



MEMO 人工大理石（アクリストン・スワン）シンク、排水口一体型ステンレスシンクは、②浅型カゴを取り除くと、⑤排水口本体に⑥止水キャップがセットされています。⑥止水キャップを必ず取り除き、③排水目皿をセットして使用してください。

使用上の注意

必ず実行 **浅型カゴ、排水目皿は必ず取り付けて使用する。**
排水管に調理クズなどが流れ込み、排水管のつまりの原因になります。

必ず実行 **浅型カゴにためたゴミは、こまめに捨てる。**
半日以上ためると、悪臭が発生する原因になります。

必ず実行 **浅型カゴのお手入れは、必ず排水口本体から取り外して行う。**
設置した状態で強い力を与えると、変形したり・傷がつく恐れがあります。

禁止 **防臭パイプは、通常使用時に取り外さない。**
排水管からの悪臭が発生します。排水口本体のお手入れと高圧洗浄を行う際に取り外します。

禁止 **洗剤をステンレス部分に長時間放置しない。**
変色の恐れがあります。

禁止 **成分にケイ酸塩（オルトけい酸ナトリウムと成分表示している洗剤）を含んだ洗剤は使用しない。**
万一、誤って使用した場合は、シンクや排水口本体に残らないよう水できれいに洗い流してください。

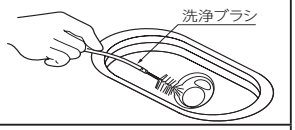
お手入れのしかた

部品ごとのお手入れ方法

- ①排水プレートと排水口一体型ステンレスシンクの②浅型カゴは、表面にステンレスシンクと同じｅコート（セラミック系特殊コーティング）を施しています。ステンレスシンクと同様のお手入れをしてください。

参照 ステンレスシンクのお手入れ P22、ステンレスシンクで使用できる洗剤・洗浄道具 P23

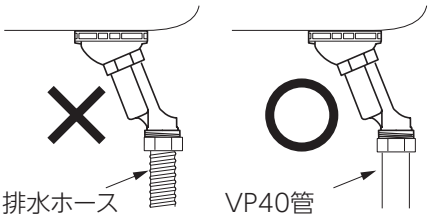
- 排水口周りの、各部品のお手入れは下記の表を参考に行ってください。

部品名	お手入れの目安	方法
①排水プレート	週 1 回以上	中性洗剤を使用する
②浅型カゴ		
③排水目皿		
④防臭パイプ	・月 1 回程度 ・臭いやつまりを感じたらその都度	中性洗剤をスポンジや洗浄ブラシなどにつけてこすり落とす 
⑤排水口本体		
⑥止水キャップ	週 1 回以上	中性洗剤を使用する

MEMO ④防臭パイプの取り外しは反時計回りに回し、取り付けは時計回りに回してください。

集合住宅などにおける集中洗浄（高圧洗浄）時の留意点

- 洗浄前に③排水目皿と④防臭パイプを取り外し、洗浄後は必ず取り付けてください。
- 排水管洗浄業者による排水管の集中洗浄（高圧洗浄）をする場合は、排水口・排水トラップに高い水圧をかけないように打ち合わせをしてください。排水器具などが変形し、水漏れの原因になります。
- 集中洗浄（高圧洗浄）に使用するホースは樹脂製を推奨します。
- 排水ホースで接続されている場合は、高圧洗浄はできません。フリーパイプや肉厚管（VP 管）などで直管配管している場合のみ、高圧洗浄が可能です。



4.5. シンク用アクセサリーパーツ

シンク周りをより使い勝手よく使用できるアクセサリーパーツです。シンク形状により対応しているパーツが異なります。よくご確認の上、ご利用ください。

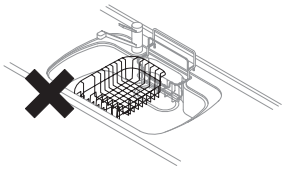
使用上の注意

●サポートプレート、水切りバスケット、まな板

禁止

シンクにしっかり載せて使う。横にスライドさせない。

落下する恐れがあります。

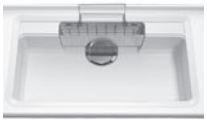


ステンレスシンク用アクセサリーパーツ

キッチン奥行		65㎝／80㎝／98㎝		60㎝		65㎝／80㎝／98㎝	
お使いのシンク	ステンレスシンク	SVシンク W67×D52×H20.4㎝	SKシンク W82×D52×H21.5㎝	SDシンク W65×D48.5×H18.3㎝	SBシンク W82×D48.5×H18.3㎝	SXシンク W70×D50.5×H19.6㎝	SRシンク W85×D50.5×H19.6㎝
付属品	クリンラック	KAP-SP13　￥6,300 (税抜￥6,000)		KAP-SP14　￥6,300 (税抜￥6,000)		KAP-SP15　￥6,300 (税抜￥6,000)	
付属品	クリンプレート	KAP-HP9　￥3,150　(税抜￥3,000)				KAP-HP5　￥3,150 (税抜￥3,000)	
付属品	浅型カゴ	KAP-H2　￥1,575　(税抜￥1,500)				KAP-AG1　￥4,200 (税抜￥4,000)	
オプション品	止水フタ	F-3　￥1,365　(税抜￥1,300)				KAP-H5　￥630 (税抜￥600)	
オプション品	サポートプレート	—	●プラスエンボス用 ZKPMJN-K ●ドット柄用 ZKPMSN-K ￥6,300（税抜￥6,000）	—		●ドット柄 ZKPPSN-K ●鏡面 ZKPPHN-K ￥6,825（税抜￥6,500）	
オプション品	サポートプレートメッシュタイプ	MP-9　￥6,195 (税抜￥5,900)	ZKPPKN-K　￥6,300 (税抜￥6,000)	ZKPPUN-K　￥6,300 (税抜￥6,000)	ZKPPGN-K　￥6,300 (税抜￥6,000)	—	
オプション品	まな板	—	MHK-1　￥6,825 (税抜￥6,500)	—	ZKPJGN-K　￥6,825 (税抜￥6,500)	MHF-1　￥6,825 (税抜￥6,500)	
オプション品	水切りバスケット	KAP-S5　￥5,775　(税抜￥5,500)		—		PMC-10　￥5,880 (税抜￥5,600)	

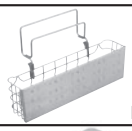
人工大理石シンク用アクセサリーパーツ

<table>
<tr><td colspan="2">キッチン奥行</td><td colspan="2">65㎝／80㎝／98㎝</td><td colspan="2">65㎝／80㎝</td></tr>
<tr><td rowspan="2">お使いのシンク</td><td rowspan="2">人工大理石シンク</td><td colspan="2">アクリストンシンク</td><td colspan="2">スワンシンク</td></tr>
<tr><td>ACシンク

W69×D49.2×H19.1㎝</td><td>ABシンク
 
W84×D49.2×H19.1㎝</td><td>AQシンク

W64.5×D52.5×H19.5㎝</td><td>APシンク

W77.5×D52.5×H19.5㎝</td></tr>
<tr><td rowspan="6">付属品</td><td>プレートラック</td><td colspan="2">—</td><td colspan="2">
●スポンジ用
KAP-PL2　￥945（税抜￥900）

●洗剤用
KAP-PL1　￥735（税抜￥700）</td></tr>
<tr><td>洗剤ポケット・ラック
※…線内はオプション品</td><td colspan="2"> 
KAP-SP4　￥8,400（税抜￥8,000）</td><td colspan="2">
※プレートラックに抵抗感のある方に一般的なワイヤー製洗剤ラックをご用意しています。
ZKPAMN-K　￥3,150（税抜￥3,000）</td></tr>
<tr><td>排水プレート</td><td colspan="2">
KAP-HP5　￥3,150（税抜￥3,000）</td><td colspan="2">
KAP-HP4　￥3,150（税抜￥3,000）</td></tr>
<tr><td>浅型カゴ</td><td colspan="4">
KAP-H1　￥1,575（税抜￥1,500）</td></tr>
<tr><td>止水キャップ</td><td colspan="4">
KAP-H5　￥630（税抜￥600）</td></tr>
<tr><td>サポートプレートメッシュタイプ</td><td>—</td><td>
KAP-S6　￥5,775
（税抜￥5,500）</td><td>
KAP-S9　￥7,350
（税抜￥7,000）</td><td>
KAP-S8　￥7,350
（税抜￥7,000）</td></tr>
</table>

※商品仕様および価格は、予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

ご注文・お問い合わせは、クリナップテクノサービス株式会社アクセサリーパーツ係へどうぞ。

0120-846-447　**（受付時間／平日9：00～20：00）**

キッチンアクセサリーパーツをご注文いただいた後、お客さまのご自宅へ商品をお届けするまで約1週間程度いただきます。
また、お買い上げ金額が税抜5,000円未満の場合は別途送料がかかります(一律、税込630円)。お支払いは代金引換のみとさせていただいておりますので、お届け時に配達員へ料金をお支払いください。

5.1. キャビネットの収納例

本項では収納例をご紹介します。豊富な収納量と取り出しやすさを兼ね備えたキッチンですので、ご参考の上、お役立てください。なお、キッチンには様々な形状やキャビネット構成があるため、イラストとお客様がご利用の商品が異なる場合があります。

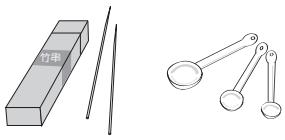
MEMO うきうきポケットなしのキャビネットをご利用の場合は、うきうきポケット部の収納物を同じ、または近くのキャビネットのハンドエリア収納に収納してください。

コンロキャビネット

ハンドエリア収納

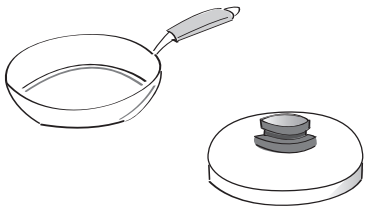
コンロ横引出し

コンロ周りで使用する小物を収納
菜箸、計量スプーン、竹串、家庭用油凝固剤



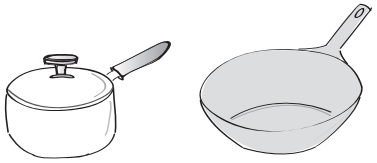
うきうきポケット部

火周りで使用する薄型調理器具を収納
フライパン、フライパンフタ、鍋フタ、落としブタ



引出し部

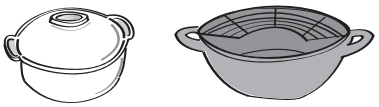
火周りで使用する鍋類を収納
両手鍋、片手鍋、中華鍋、圧力鍋、蒸し器、卵焼き器



フロアコンテナ

引出し部

使用頻度が低い、季節使いの調理器具を収納
土鍋、天ぷら鍋、せいろ、カキ氷器



ポケット部

あく取りシート、家庭用油凝固剤

ベースキャビネット

ハンドエリア収納

1 段目

調理小物、カトラリー等の使用頻度の高い小物や食器を収納
菜箸、コルク抜き、缶切り、フォーク、ナイフ、ふきん、栓抜き、計量スプーン、しゃもじ

引出し部

調味料や粉物の食材類を収納
調理油、ゴマ油、しょうゆ、小麦粉、パン粉、砂糖、塩、かつおぶし、レトルト食品、乾麺

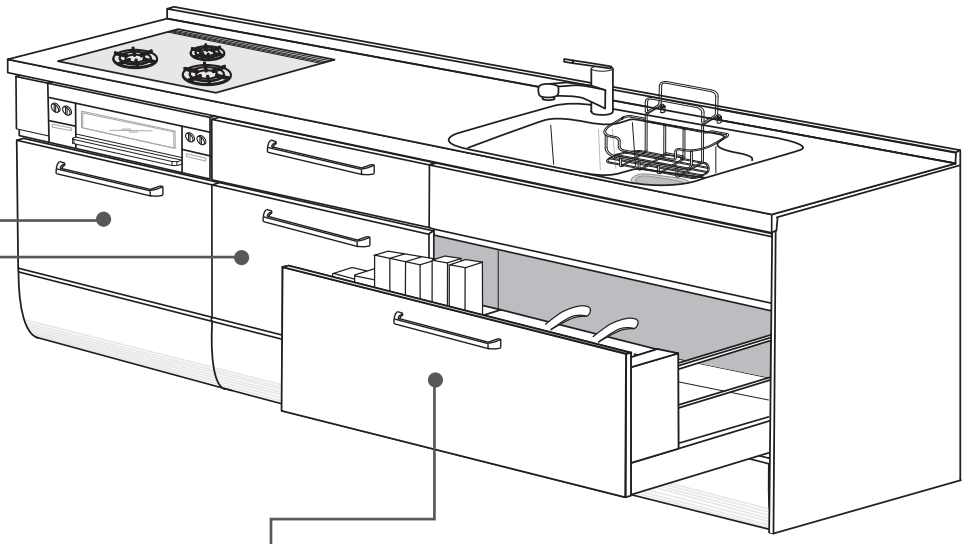
フロアコンテナ

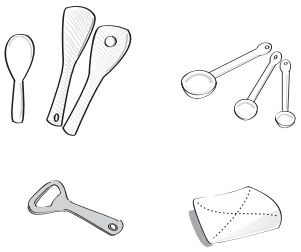
引出し部

ストック用の食材類や使用頻度の低い容器等を収納
缶詰、ビール、ストック用レトルト食品、樹脂容器、弁当箱

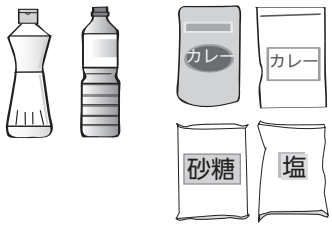
ポケット部

スパイス類のストック品





シンクキャビネット

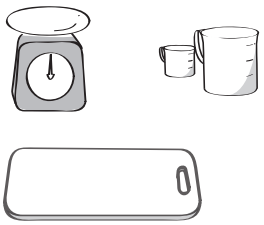


うきうきポケット部・包丁差し

使用頻度の高い雑貨、レードル類を収納
ラップ、アルミホイル、食品保存袋、
クッキングシート、おたま、フライ返し、
キッチンばさみ
包丁（包丁差し収納）、
まな板（まな板ラック収納）

引出し部

水周りでよく使う調理道具を収納
ボール、ざる、計量カップ、おろし器、
はかり、ふるい



引出し部

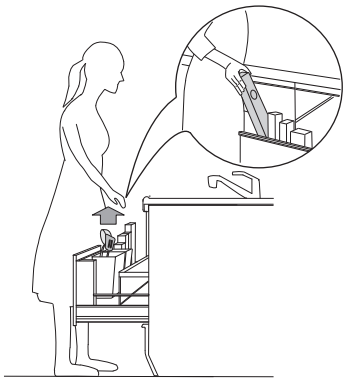
台所清掃用具等の日用ストック品や、
卓上調理器具等の週末家電を収納
スポンジ、洗剤、タワシ、漂白剤、
ハンドソープ、ゴム手袋、
カセットコンロ、ホットプレート等

ポケット部

ラップ、アルミホイル等のストック品

5.2. キャビネット（うきうきポケット）

うきうきポケットには、次のような特徴があります。
- うきうきポケットは、調理道具を取り出しやすい位置まで上昇させます。また、引出しを閉めると連動して下降します。
- シンクキャビネットの場合は、包丁差しも上昇します。



MEMO 各ポケットには仕切り板が 1 枚ついています（ただし、コンロキャビネットのポケットにはつきません）。ポケット内の溝に合わせて、脱着できます。

使用上の注意

必ず実行

うきうきポケットに耐荷重以上のものを載せない。

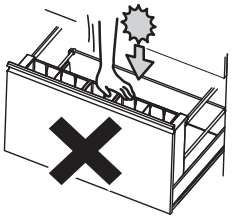
引出しの開閉が重くなったり、動きが悪くなったりする恐れがあります。

参照 うきうきポケット P.16

禁止

うきうきポケットに強い力を与えない。

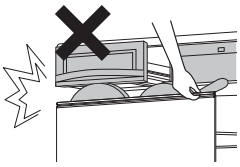
うきうきポケットが故障したり、破損したりする恐れがあります。



禁止

グリルや 1 段目の引出しを出したままうきうきポケットの引出しを開けない。

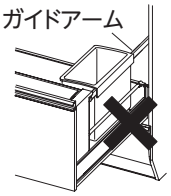
ポケット内部の収納物が出てきたとき、ぶつかる恐れがあります。



禁止

ガイドアームにものを載せない。

うきうきポケットが故障したり、破損したりする恐れがあります。



収納物の大きさ・重さ例

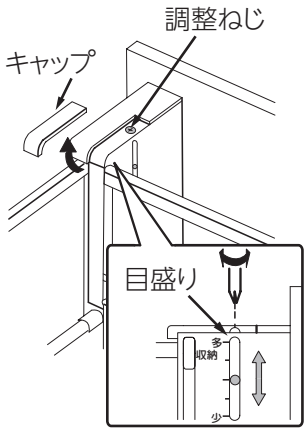
シンクキャビネットのうきうきポケット				
収納物	幅	奥行	高さ	重さ
ラップ	5cm	5cm	32cm	180g
おたま	9cm	9cm	32cm	100g
フライ返し	8cm	5cm	32cm	100g
レトルト食品	14cm	2cm	18cm	180g

コンロキャビネットのうきうきポケット				
収納物	外径	厚み	柄長	重さ
フライパン	26cm	6cm	19cm	800g
鍋フタ	23cm	7cm	—	400g
落としブタ	18cm	3cm	—	100g

MEMO
- うきうきポケットに収納可能な収納物の高さは、取り付けられているキャビネットにより異なります。シンクキャビネットの場合は 32cm、コンロキャビネットの場合は 30cmまでです。
- 収納物の重さによってはポケットが上昇している途中で引出しから手を離すとポケットが下がってしまう場合がありますが、故障ではありません。

引出し開閉力の調整のしかた

うきうきポケットはキャビネットの大きさ、引出しレールの長さ、収納物の重さによって、引出しを開閉する力やポケットが上昇し始める位置が異なります。引出しの開閉が重たい場合は、調整することができます。



左右の本体の上部にあるキャップを外し、調整ねじを⊕ドライバーで回して調整する。

・開く力が重い場合は、左右の調整ねじを時計回りに回す。

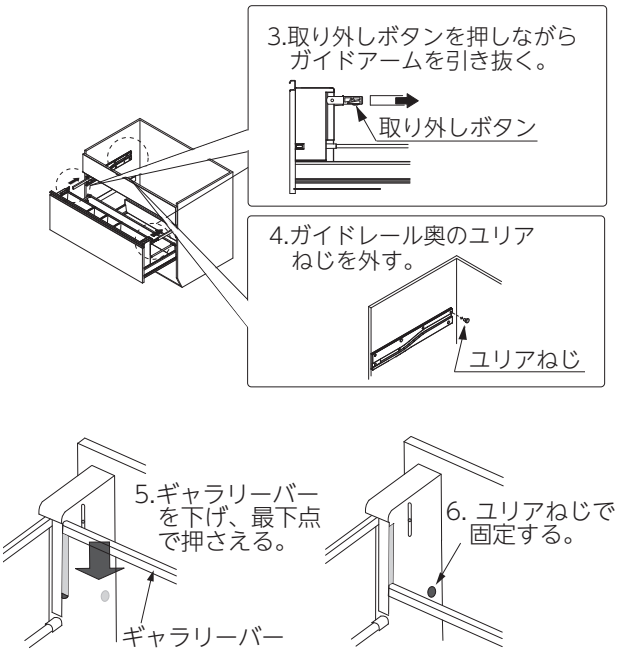
・閉める力が重い場合は、左右の調整ねじを反時計回りに回す。

MEMO 機構部側面にある目盛りは左右同じ位置に調整してください。

チャイルドロックのしかた

小さなお子様がいたずらしないように、うきうきポケットを上昇させない仕様とすることができます。

1. 引出し開閉力の調整のしかたを参考に、うきうきポケット部本体の上部にある調整ねじを反時計回りに回して、機構部側面にある目盛りを少にする。
2. ギャラリーバーについているポケットをすべて外す。
3. ガイドアーム下にある取り外しボタンを押しながら、ガイドアームを奥側に抜く。
4. ガイドレール奥のユリアねじを外す。
5. ギャラリーバーを下げ、最下点で押さえる。
6. ユリアねじを右図のようにうきうきポケット部本体の内側に開いているねじ穴に入れ固定する。



〈うきうきポケットをキャビネット内側から見た図〉

MEMO ・取り外したガイドアームは保管してください。

・チャイルドロックを解除する場合は、逆の手順で作業してください。

注意 チャイルドロック解除時に、うきうきポケット部本体の内側についているユリアねじを取り外す際は、必ずギャラリーバーを押さえながら取り外してください。

5.3. キャビネット（引出し）

- 引出しには、うきうきポケットの有無によって取り外し方が異なります。ご使用のキッチンセットをご確認の上、ご覧ください。
- 引出しには、閉めるときの音や衝撃をやわらげるブルモーション機構を採用しています。（一部機種は除く）

使用上の注意

禁止

引出しにものを入れすぎない。

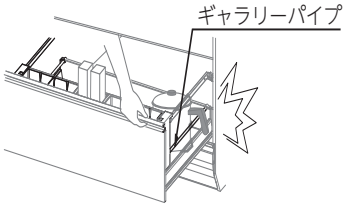
収納物の重量や高さによっては、引出しの開閉がしにくくなったり、収納物が上の扉とぶつかったりする恐れがあります。
スライドボックス付の場合、ポケットにはスライドボックスとぶつからないように収納物を入れてください。

参照 重量に関する規定　キャビネット　P.16

必ず実行

引出し内の左右のギャラリーパイプよりも外側に収納物が出ないようにする。

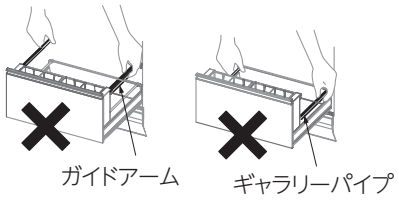
うきうきポケットの機構部と収納物がぶつかって破損したり、キャビネットや扉を傷つけたりする恐れがあります。



禁止

ガイドアームやギャラリーパイプを持って引出しを脱着しない。

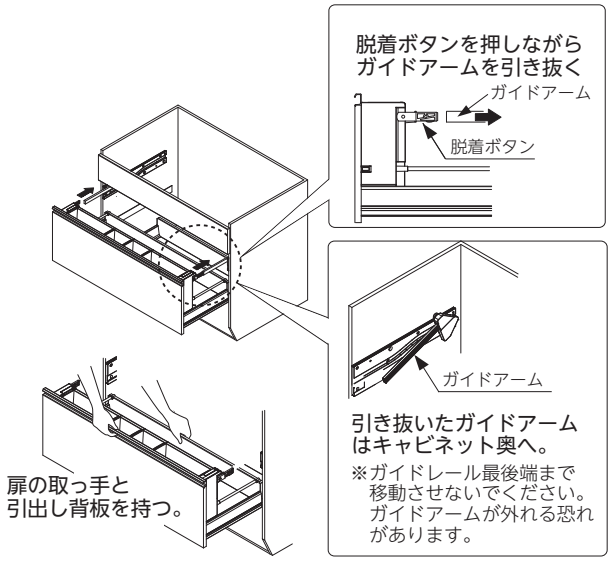
故障する恐れがあります。



うきうきポケット付引出しの脱着

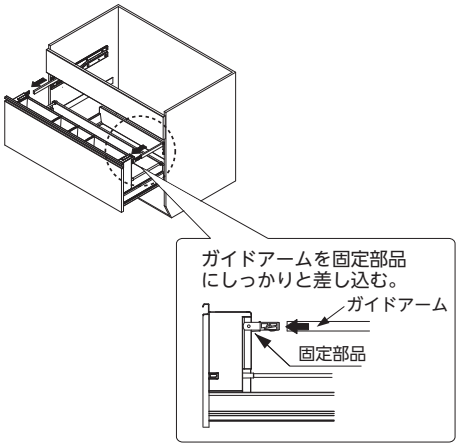
取り外し方

1. 引出しとポケットに入っている収納物をすべて取り出す。スライドボックスがついている場合は取り外す。
   参照 5.6. スライドボックス付キャビネット　P.39
2. 引出しをストップするところまで引き出す。
3. ガイドアーム下にある脱着ボタンを押しながらガイドアームを奥側へ引き抜く。
4. 扉の取っ手と引出し背板を持ちながら少し持ち上げて（“バチッ”と音がしてロックが外れる）、レールと平行に静かに引き出す。



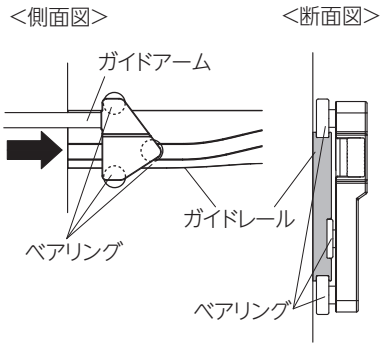
取り付け方

1. 受けレールを奥まで入れる。
2. 引出しの奥 1/3 くらいを受けレールに載せ、レールと平行に静かに奥まで押す。
   (“カチッ”と音がしてロックが掛かる)
3. 3 ～ 4 回引出しを開閉させ、引出しがしっかりと作動することを確認する。
4. ガイドアームを機構部の固定部品にしっかりと差し込む。
5. 片手でポケット後部を押しながら引出しのレールと平行に静かに奥まで押す。
6. 3 ～ 4 回引出しを開閉させ、引出しのブルモーション機構と、うきうきポケットがしっかりと作動することを確認する。



MEMO ポケットに何も収納物がない場合、閉める強さが弱すぎると途中で引出しが跳ね返ってくることがありますが、故障ではありません。適度な強さで閉めると、引出しが閉まりきる約 50㎜手前でゆっくりと閉まります。

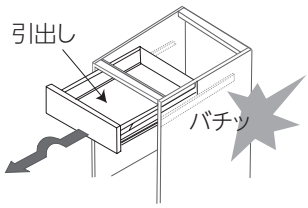
※ガイドアームがガイドレールから外れてしまった場合、固定部品からガイドアームを外してから、右図のようにガイドアームを平行にし、3つのベアリングがガイドレールの溝に入っていることを確認しながらガイドアームをガイドレールに差し込んでください。
ガイドアームが差し込めたら、上記の手順で引出しを入れて、うきうきポケットがしっかりと作動することを確認してください。



うきうきポケットなし引出しの脱着

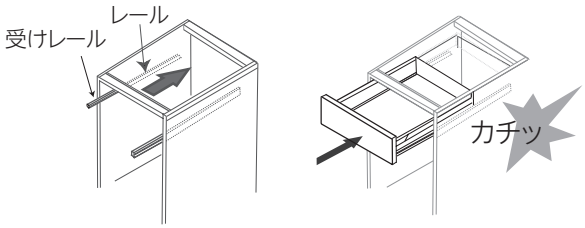
取り外し方

1. 引出しに入っている収納物を全て取り出す。
2. 引出しをストップするところまで引き出す。
3. 少し持ち上げて（“バチッ”と音がしてロックが外れる)、レールと平行に静かに引き出す。



取り付け方

1. 受けレールを奥まで入れる。
2. 引出しの奥 1/3 くらいを受けレールに載せ、レールと平行に静かに奥まで押す。
   (“カチッ”と音がしてロックが掛かる)
3. 3 ～ 4 回引出しを開閉させ、引出しのブルモーション機構がしっかりと作動することを確認する。



引出し開放防止部品付キャビネット（オプション）の使い方

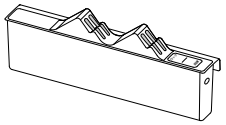
引出し開放防止部品は、地震などのゆれにより、ロック機構が働き、引出しが開かなくなります。
地震が終わり、ゆれが止まると、自動的にロックが解除されます。

注 意 使用環境、または状況など（建物の構造・階数、吊戸棚の収納状態、振動の大きさ・性質）により、性能を十分に発揮できない場合があるのでご注意ください。なお、収納物の破損など損害については、補償の対象になりません。

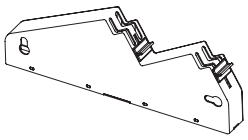
5.4. 包丁差し

包丁差しは 3 種類のタイプがあります。使用されている包丁差しをご確認の上、お読みください。

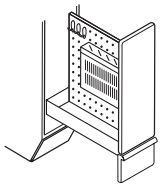
〈うきうきポケット付キャビネット用〉



〈うきうきポケットなしキャビネット用〉



〈フリースペースキャビネット用〉



使用上の注意

必ず実行

包丁は水気をよく拭き取ってから収納する。

包丁をぬれたまま収納すると、扉や引出しが変形したり、腐食したりする恐れがあります。

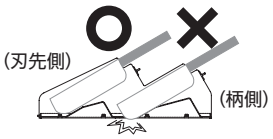
収納できる包丁の本数・大きさ

部位		収納本数	刃の長さ	刃の厚み	刃の幅
うきうきポケット付キャビネット用	差込口（大）	2 本	210㎜以下	10㎜以下	55㎜以下
	差込口（小）	2 本	210㎜以下	6㎜以下	52㎜以下
うきうきポケットなしキャビネット用　※ 1	差込口（大）	2 本	210㎜以下	8㎜以下	55㎜以下
	差込口（小）	2 本	210㎜以下	5㎜以下	55㎜以下
フリースペースキャビネット用	差込口	4 本	210㎜以下	5㎜以下	50㎜以下

注 意 包丁の形状によっては、上記の寸法を満たしていても収納できない場合があります。

MEMO 包丁差しによっては差込口が大小 2 タイプあるものがあります。刃の厚みがある出刃包丁などは、差込口（大）に収納してください。

※ 1：うきうきポケットなしキャビネット用包丁差しでは、差し込み口により収納できる包丁が異なります。柄側の差し込み口に収納できない場合、刃先側の差し込み口に収納できないか、ご確認ください。



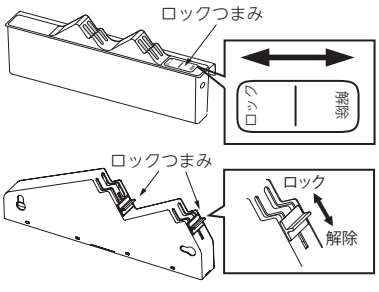
チャイルドロックのしかた

●うきうきポケット付キャビネット用

- 包丁差しの上面のロックつまみを「ロック」方向へずらすと、包丁が抜けなくなります。ロックを解除する場合は、ロックつまみを下へ押しながら「解除」方向へずらしてください。

●うきうきポケットなしキャビネット用

- 包丁差しの上面のロックつまみを「ロック」方向（上）へずらすと、包丁が抜けなくなります。ロックを解除する場合は、ロックつまみを「解除」方向（下）へずらしてください。

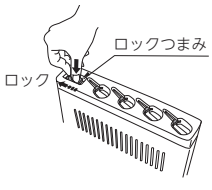


注 意

- サイズの小さい包丁は、幅の狭い包丁差込口に収納してください。差込口とサイズが合っていないと、ロックが掛からない恐れがあります。
- 刃と柄の部分に段差の少ないものは、収納しないでください。ロックが掛からず、引出しを引いた際に包丁が飛び出す恐れがあります。
- ロックを掛けるときはカチッというまでロック方向にずらしてください。しっかりとロックが掛からず包丁が抜ける恐れがあります。

●フリースペースキャビネット用

- 包丁差しの左上面にあるロックつまみを押しながら左へスライドさせると、包丁が抜けなくなります。ロックを解除する場合は、逆の方向にスライドさせてください。

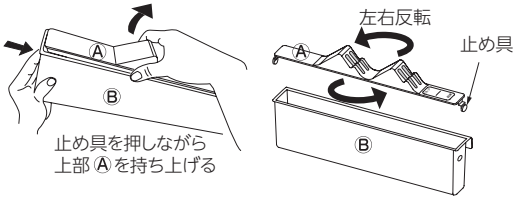


包丁差しの脱着

- 包丁差しは、一部または全体を取り外してお手入れすることが出来ます。
- うきうきポケット付キャビネット用、うきうきポケットなしキャビネット用の場合、壁にひじが当たって包丁差しが取り出しにくいときや、利き手によって使いにくいときは、次の手順で取り外し、包丁差しの向きを変えてください。

●うきうきポケット付キャビネット用

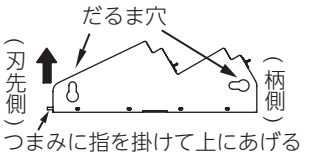
本体Ⓑを持ち、包丁差しの側面にある止め具の片方を押しながら、包丁差し上部Ⓐを持ち上げる。
包丁差し上部Ⓐが外れます。



MEMO 上部Ⓐは左右反転して取り付けることができます。

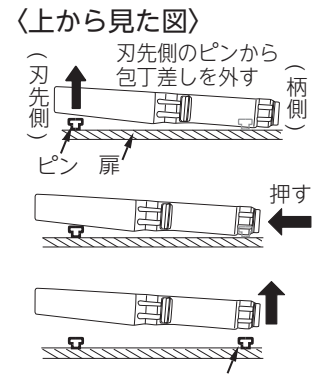
●うきうきポケットなしキャビネット用

- 包丁差し本体のだるま穴に扉裏面の 2 つのピンを差し込んで固定しています。次の手順で扉から外してください。



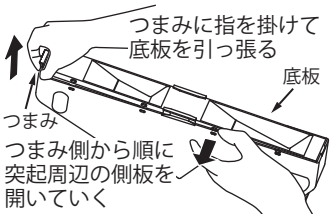
1. 包丁差しの刃先側の側面の下部にあるつまみに指を掛けてカチッというまで強く上に引っ張ります。そのまま引出しの奥側に動かして刃先側のピンから包丁差しを外します。

2. 反対側の側面をカチッというまで押してから引出しの奥側に動かすと、もう一方のピンから包丁差しが抜けて扉から完全に外れます。

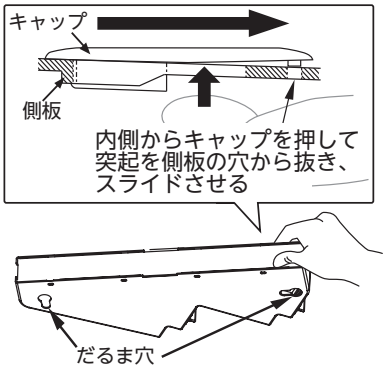


3. 図のように本体の側板を開いて底板の突起を本体側板の穴から外していきます。

4. 包丁差しの向きを変える場合は、固定していなかった方のだるま穴についているキャップを包丁差しの内側から押しながらスライドさせて外し、反対側に取り付けます。



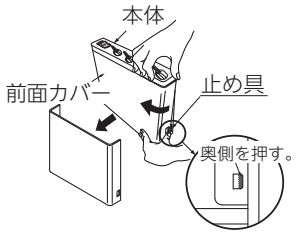
5. 底板をはめ、包丁差しを扉に取り付けます。
取り付けは逆の手順で行ってください。
だるま穴の正しい位置にピンがはまるとカチッといいます。
そこまでしっかりと押し込んでください。



MEMO 本体と扉の間にすき間があると、ピンがはまらない場合があります。
本体を扉に押し当てながら取り付けてください。

●フリースペースキャビネット用

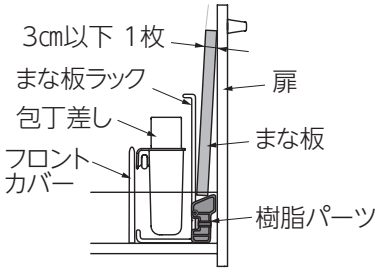
- 包丁差しの前面カバーを取り外す場合は、次の手順で行ってください。
本体の左右にある止め具を押しながら取り外します。
前面カバーは片側ずつ外すと、取り外すことができます。
取り付けは逆の手順で行ってください。



注 意
- 止め具を押し込みすぎないようにしてください。止め具が破損する恐れがあります。
- 本体受けを固定しているねじは外さないでください。包丁の落下につながる恐れがあります。

5.5. まな板ラック

- うきうきポケット付シンクキャビネットには、まな板ラックが付きます。
- キャビネット内部にあるまな板ラックには、高さ 29㎝以下、厚さ 3㎝以下のまな板を 1 枚収納できます。

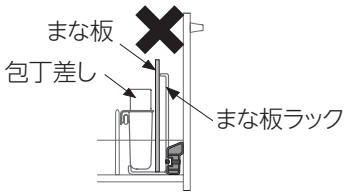


使用上の注意

禁止

まな板ラックと包丁差しの間にまな板を収納しない。

まな板と包丁差しがぶつかって破損する恐れがあります。



まな板ラックの高さ調節

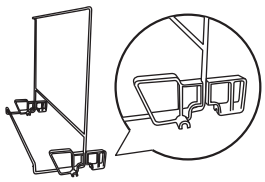
使い勝手の良い高さでまな板が取り出せるように、まな板の大きさに対する高さ調整ができます。

MEMO まな板ラックを取り外す場合は、包丁差しを外した後に行ってください。

●高さ 23 ～ 29 ㎝のまな板を収納する場合
取り付け方図のとおり樹脂パーツを左右に取り付けてください。

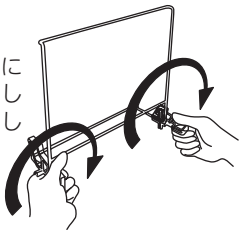
MEMO 樹脂パーツを外す際は、取り外し方図のように樹脂パーツを回して、取り外してください。

取り付け方図



取り外し方図

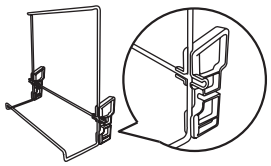
右図の方向に回すようにして完全に外します。



●高さ 23 ㎝までのまな板を収納する場合
取り付け方図のとおり樹脂パーツを左右に取り付けてください。

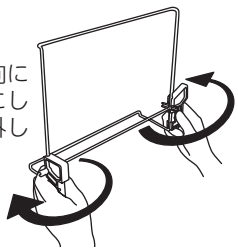
MEMO 樹脂パーツを外す際は、取り外し方図のように樹脂パーツを回して、取り外してください。

取り付け方図



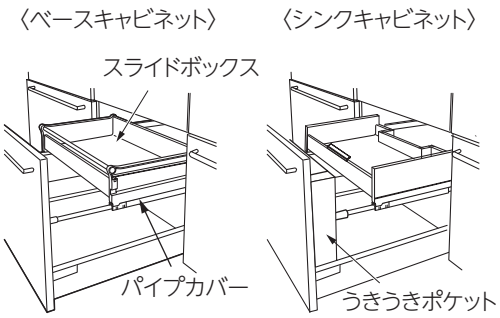
取り外し方図

右図の方向に回すようにして完全に外します。



5.6. スライドボックス付キャビネット

粉物の調味料や乾物類など背の低い食材や道具類を入れるのに便利なスライドボックスがついています。
スライドボックスは、手前のハンドルを握って前後に動かすことができます。

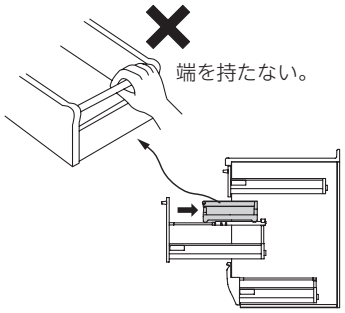


使用上の注意

必ず実行

扉を押さえながらスライドボックスのハンドル中央部を持ち、ゆっくりと前後にスライドさせる。

ハンドルの端を持って操作したり、斜めに力を加えて引き出したりすると、脱輪して破損の原因になります。



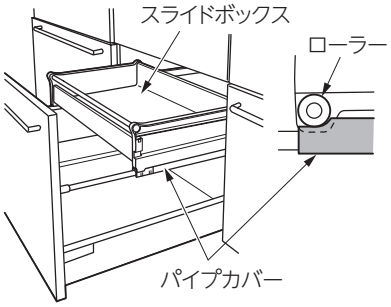
スライドボックスの脱着　（ベースキャビネットの場合）

取り外し方

引出しを全開させてスライドボックスの両サイドを持ち、上へ持ち上げる。

取り付け方

パイプカバーの凸部分とスライドボックス裏側両端にあるサイドカバーの溝部分を合わせて、スライドボックスを載せる。



スライドボックスの脱着　（シンクキャビネットの場合）

うきうきポケットのガイドアームを引き抜いた状態でスライドボックスの脱着を行います。

取り外し方

1．P.34 の 1. ～ 3. を参考に、うきうきポケットのガイドアームを奥側へ引き抜く。
2．スライドボックスの取っ手と背板を持ち、斜め上へ持ち上げる。

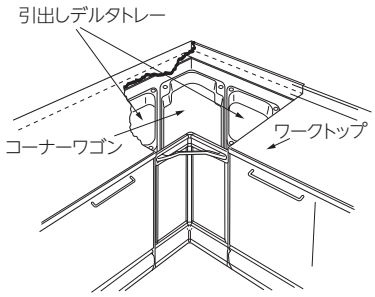
取り付け方

1．パイプカバーの凸部分とスライドボックス裏面両端にあるサイドカバーの溝部分を合わせて、スライドボックスを載せる。
2．P.35 の 4. ～ 6. を参考に、うきうきポケットのガイドアームを差し込む。

注 意　パイプカバーの凸部分に確実に載っているか、確認してください。ずれていると、脱落する恐れがあります。

5.7. ワゴン付コーナーキャビネット

普段使用のものをサッと引き出せるコーナーワゴンに、あまり使用しないものを両サイドの引出しデルタトレーに、それぞれ収納することをお勧めします。



使用上の注意

必ず実行

引出しデルタトレーやコーナーワゴンをキャビネットに収納する際は、ゆっくりと押し入れる。

勢いよく入れると、隣の扉に当たって傷がついたり、収納物が転倒したり、扉やレール、樹脂部品が破損する恐れがあります。

禁止

コーナーワゴンの収納量が少ない場合に、取っ手を握りながら下方向に力を加えない。

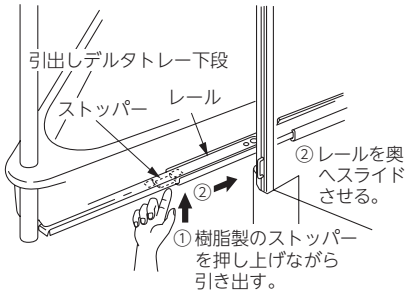
コーナーワゴン後方のキャスターが持ち上がることがあります。水平方向に力を加え、ゆっくり押し込んでください。

引出しデルタトレーの脱着

取り外し方

1. レール下面にある樹脂製のストッパーを指で上に押し上げながら、引出しデルタトレーをいっぱいまで引き出す。
2. レールをキャビネットの奥方向へスライドさせる。

   レールから取り外せるようになります。レールから外れた状態では、引出しデルタトレーは自立できませんので、倒れないように手で支えてください。

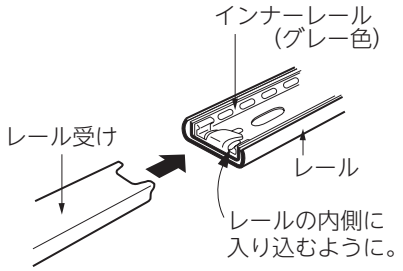


注 意 レールがない状態では、引出しデルタトレーは自立できません。必ず、収納物は取り除いてから取り外してください。

取り付け方

1. 側板についているレールを奥まで入れる。
2. インナーレール (グレー色) をレール手前に移動させる。
3. 引出しデルタトレーについているレール受けを、レールの内側に入り込むように当てがって、奥まで押し込む。

   レールの奥になるほど、少し強めに押してください。



4. 引出しデルタトレーを引き出して、所定の位置でトレーが止まることを確認する。

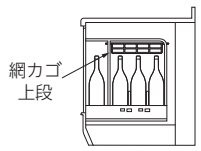
   外れる場合は、再度、引出しデルタトレーを取り付けて、前に取り付けたときよりも、さらに奥に押し込んでください。

5.8. ボトル用スライドキャビネット

- キャビネットには一升ビンやペットボトルを収納することができます。また、上部の網カゴには、調味料の小ビンなどが収納できます。
- 上部の網カゴは、収納量に応じて、取り付け位置を上下に可動できます。一升ビンを 2 本以上収納する場合は、網カゴを上段に取り付けてください。

MEMO ボトル用スライドキャビネットは、収納ラックに何も入れない場合や、小物類のみを収納した場合は、引出しの開閉時にぶれが大きく感じることがありますが、故障ではありません。

〈一升ビン4本収納の場合〉



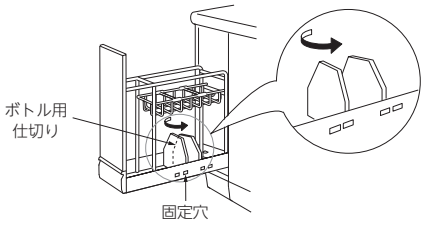
〈一升ビン1本収納の場合〉

使い方

ボトル用仕切りの脱着

取り外し方

右図の矢印のように仕切りを斜めにして取り外す。



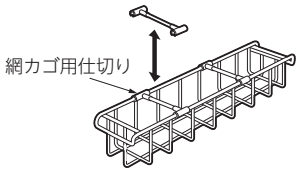
取り付け方

側面の固定穴に合わせて仕切りを差し込む。
“カチッ”と音がするまで、しっかりと差し込んでください。

網カゴ用仕切りの脱着

取り外し方

網カゴをラック本体から外し、仕切りのＴ字の樹脂部分を強く引っ張って外す。



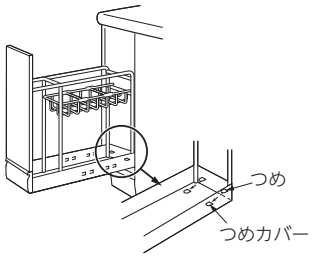
取り付け方

取り外したときと逆の手順で取り付ける。

ボトルラックの脱着

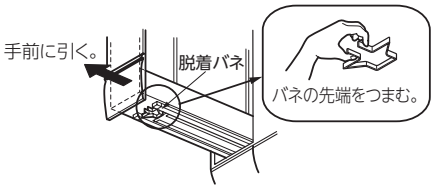
取り外し方

1. ボトルラックを引き出す。
2. ラック奥側についているつめカバーを取り外す。
3. ラック本体の下側の脱着バネの先端をつまみながら、ラック本体を手前に引いてレールから取り外す。



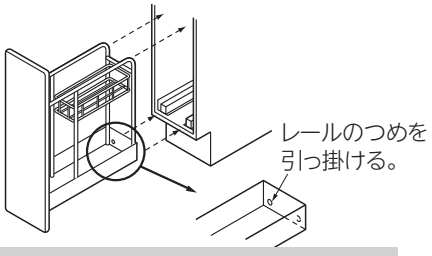
取り付け方

1. レールをキャビネット内に収納する。
2. ラック本体下側の脱着バネの先端をつまみながら、レールに合わせて脱着バネを取り付け、ラック本体を奥側までスライドさせる。



確認のため、ラックを手前にスライドさせ、ラック奥側にレールのつめが掛かっているかどうか確認してください。つめが掛かっていない場合は、もう一度ラックをしっかりとキャビネット奥に収納してください。

3. ラック奥側のつめのカバーを取り付ける。



注 意 ボトルラックを取り外す場合は、収納物を取り除いてから行ってください。

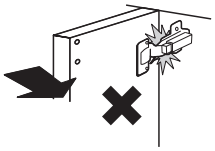
5.9. 開き扉・引出し前板・棚板

使用上の注意

禁止

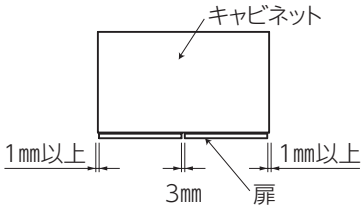
開き扉を無理に力を入れて急に閉めない。

サイレント効果が弱まるばかりでなく、サイレントダンパーが破損する恐れがあります。

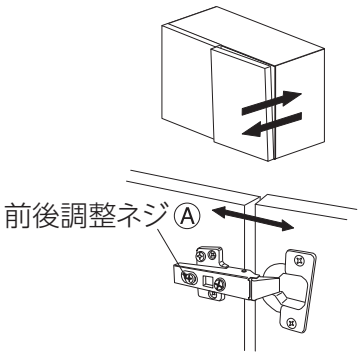


開き扉の調整のしかた

- 調整前に丁番、座のゆるみがないことを確認してください。ゆるみがある場合は、丁番と座を取り付けているねじをしっかり締め付けてください。
- 扉の左右両端とキャビネットの外側との間隔が 1㎜以上になるよう左右調整してください。また、左右両開き（観音開き）扉の場合は、扉と扉のすき間が３㎜以上になるようにしてください。
- 扉面とキャビネットが平行になるように調整してください。

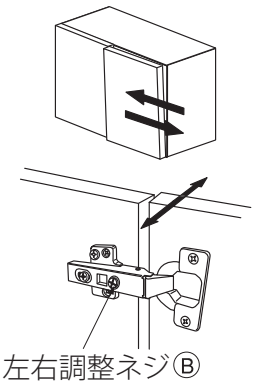


●前後調整



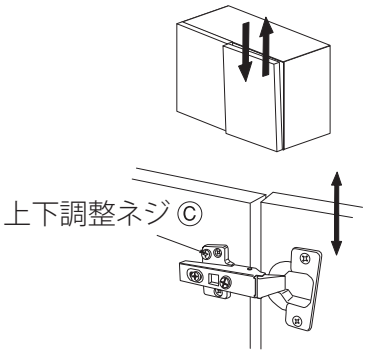
ねじⒶを右に回すと扉が後に、左に回すと扉が前に動きます。

●左右調整



ねじⒷを右に回すと扉が外側に、左に回すと扉が内側に動きます。

●上下調整



ねじ©をゆるめて扉を上下に調整した後、調整ねじ©を締め直します。

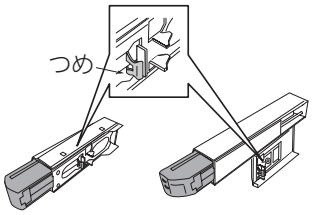
注 意 ねじのゆるめすぎに気をつけてください。ねじをゆるめすぎると扉が落ちて、ケガをする恐れがあります。

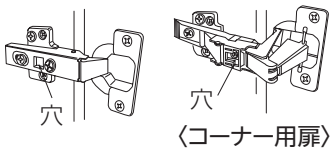
MEMO コーナー用扉の場合は、前後・左右の調整時に扉の動く向きが図と逆になります。

サイレントダンパーの脱着

取り付け方

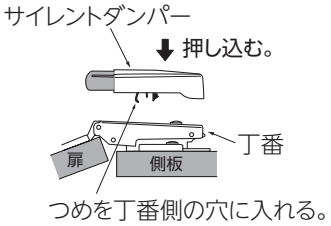
丁番の四角い穴に、サイレントダンパー裏面のつめの手前側を合わせ、サイレントダンパー後方を“カチッ”と音がするまで丁番側に押し込みます。





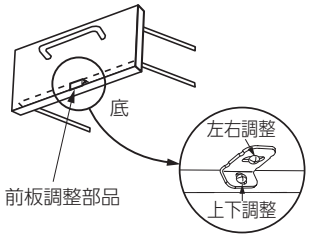
〈コーナー用扉〉

MEMO
- サイレントダンパーは機構上、すべての丁番にはついていません。扉の片側（上部または下部）、もしくは扉の大きさや扉の種類によっては両側（上部および下部）についている場合があります。
- サイレントダンパーを外したときは、必ず元の丁番に取り付けてください。

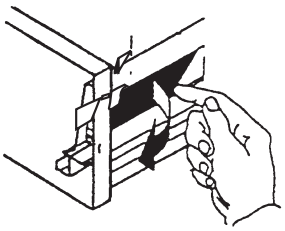


引出し前板の調整のしかた

キャビネットの間口 60㎝以上の引出しには、前板裏面と引出し底板に前板調整部品がついています。ねじをゆるめてから下記の手順で調整を行い、調整後は必ずねじを締め直してください。



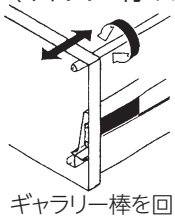
1. 脇カバーを外す。



カバー下側を上に押し上げ気味に外します。

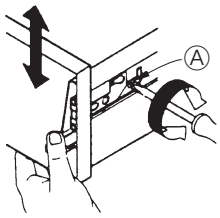
2. 調整する方向によって、下図のようにねじを回してください。

● 前板傾き調整
(ギャラリー付の場合)



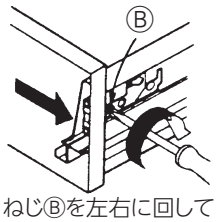
ギャラリー棒を回して傾きを調整します。

● 上下調整

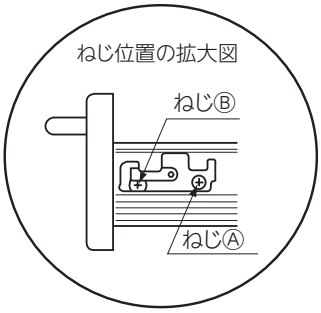


ねじⒶを左右に回して調整します。

● 左右調整

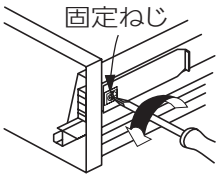


ねじⒷを左右に回して調整します。



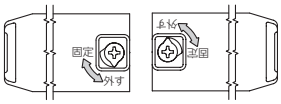
3. 調整後、脇カバーを戻す。

MEMO 引出し開放防止部品付キャビネットの場合は、脇カバーを外した後に、ラッチ受けを外してください。



固定ねじを左へ回すとラッチ受けのロックが解除され、外れます。

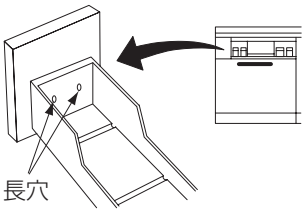
〈ラッチ受け〉
このラッチ受けは左右共通です。
取り外しの際は、刻印されている「外す」の方向に回します。
取り付けの際は、必ず「固定」の方向に回してください。



左側設置の場合　右側設置の場合

コンロ横引出し前板の調整のしかた

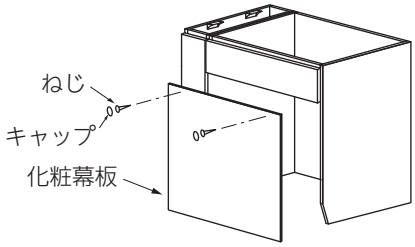
コンロキャビネットのコンロ横引出し前板を固定しているねじ穴は長穴になっていて、前板の上下調整をすることができます。ねじをゆるめて調整してください。なお、調整後は必ずねじを締め直してください。



フリースペースキャビネット用化粧幕板の脱着方法

フリースペースキャビネットをご使用の場合で、浄水器や整水器のカートリッジを交換する際に、
下記の手順で化粧幕板を取り外してから交換作業を行ってください。

●化粧幕板についている上部のキャップとねじをすべて外し、化粧幕板を取り外してください。化粧幕板の下部はマグネットで固定されていますので、化粧幕板を手前に引くと取り外せます。
取り付けは、その逆の手順で行ってください。



5.9. 開き扉・引出し前板・棚板

扉開放防止部品（オプション）の使い方

- 扉開放防止部品は、地震などのゆれにより、ロック機構が働き、扉が開かなくなる機構を備えています。
- 地震が終わり、ゆれが止まると、自動的にロックが解除されます。
- 収納物が扉を押した状態でロックされたままになっている場合は、収納物が破損しないように扉を奥へ静かに閉めてください。その際は、収納物が落下しないように十分注意してください。

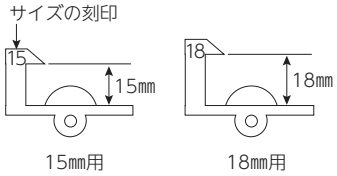
注 意 使用環境、または状況など（建物の構造・階数、吊戸棚の収納状態、振動の大きさ・性質）により、性能を十分に発揮できない場合があるのでご注意ください。なお、収納物の破損など損害については、補償の対象になりません。

棚板の脱着

取り外し方

1. 前側の左右の棚受けダボのつめ部分を、棚板を押さえながら、“パチン”と音がして外れるまで、手前へ強く引く。
2. 棚板を前へ引いて取り外す。

注 意 受けダボは、棚板の厚さ（15㎜、18㎜）によってサイズが異なります。必ず棚板と組み合わせて使用、保管してください。棚受けダボのサイズは、ダボ横に刻印されています。



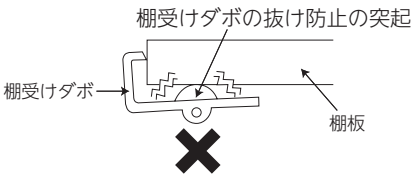
棚受けダボ

取り付け方

1. 図のように、棚受けダボを棚受けダボ穴に根元まで差し込む。

   幅の大きい棚板は、キャビネット背板の中央部分にも棚受けダボがあります。

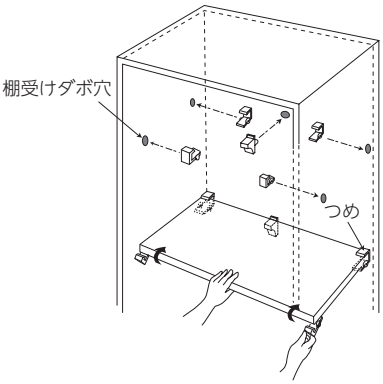
注 意
- 差し込みが浅いと、棚板が棚受けダボの抜け防止の突起部分にあたり、棚受けダボが破損する恐れがあります。
- 棚板をセットするときは、棚受けダボにある「抜け防止の突起」を変形させないでください。棚板のガタつきの原因になります。



2. 後ろ側の棚受けダボのつめに、棚板をしっかりとはめ込む。
3. 棚板を押さえながら、前側の棚受けダボを下から強く押し上げる。

   つめが棚板にはめ込まれ、“パチン”という音がするまで押し上げてください。
4. 棚板にガタつきがないか、確認する。

   ガタつきがある場合は、取り付け直してください。



お手入れのしかた

丁番のお手入れ

- 丁番はときどき汚れやほこりを取り除いてください。
- 潤滑油などをときどき注油していただくと、開閉がなめらかになります。

5.10. キャビネット用オプションパーツ

オプションパーツを使用すれば、より効率的な収納ができます。各オプションパーツの取り付け可能な引出しについては、以下のイラストを参照してください。

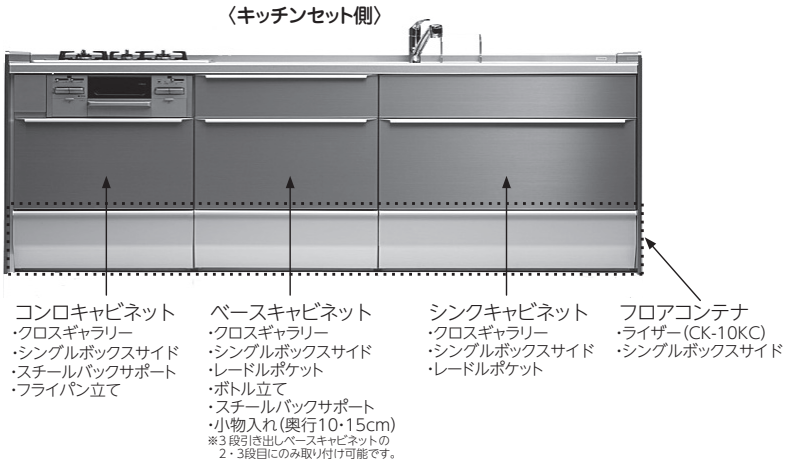
※　商品仕様及び価格は予告無く変更する場合があります。

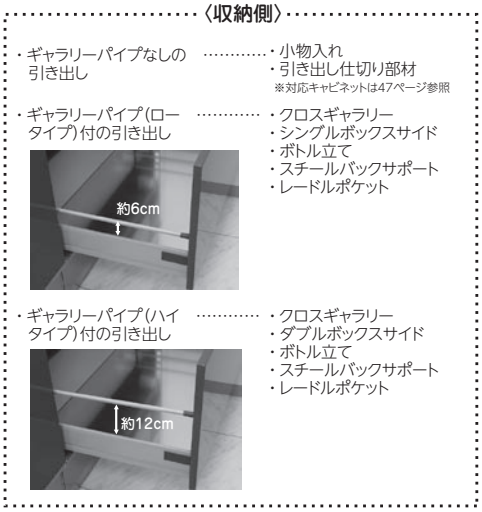
注 意

・うきうきポケットがついている引出しには、シングルボックスサイド（ハイタイプ）、スチールバックサポート以外は取り付けられません。

・スライドボックスがついている引出しには、シングルボックスサイド、スチールバックサポートは取り付けられません。

〈引出しオプションパーツの使用可能場所〉





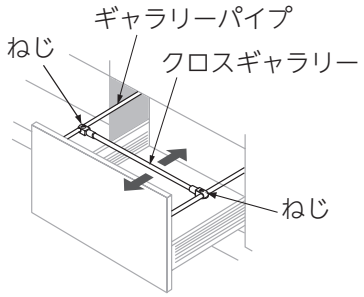
クロスギャラリー

引出しのギャラリーパイプに取り付けることで、引出し内部を仕切ることができます。

キャビネットの種類	間口	品番	価格
ベースキャビネット用	30㎝	HAC-30N	¥1,155（税抜¥1,100）
	45㎝	HAC-45N	¥1,260（税抜¥1,200）
	60㎝	HAC-60N	¥1,260（税抜¥1,200）
	75㎝	HAC-75N	¥1,365（税抜¥1,300）
	80㎝	HAC-80N	¥1,365（税抜¥1,300）
	90㎝	HAC-90N	¥1,365（税抜¥1,300）
	95㎝	HAC-95N	¥1,575（税抜¥1,500）
	100㎝	HAC-100N	¥1,575（税抜¥1,500）
	105㎝	HAC-105N	¥1,575（税抜¥1,500）
コンロキャビネット用	60㎝	HAC-60N	¥1,260（税抜¥1,200）
	75㎝	HAC-75G	¥1,365（税抜¥1,300）
	90㎝	HAC-90G	¥1,365（税抜¥1,300）
※アイランド型キッチンのコンロキャビネットの場合	75㎝	HAC-75N	¥1,365（税抜¥1,300）
	90㎝	HAC-90N	¥1,365（税抜¥1,300）

クロスギャラリー

使用例



取り付け方、位置の調整のしかた

⊕ドライバーで両端の樹脂部にあるねじをゆるめる。調整後、ねじを締め直す。

引出し仕切り部材（2 個セット）

引出しの間口を収納物のサイズに合わせて分割できるので、小さな収納物も引出し内で散らばりません。

対応しているキャビネットの種類	品番	価格
フラット対面ダイニング側引出し用	HASG-27	¥2,310（税抜¥2,200）
片面カップボード・フロアカウンター(奥行45㎝）引出し用 システムエリア収納中台引出し用	HASG-35	¥2,625（税抜¥2,500）

引出し仕切り部材

使用例

5.10. キャビネット用オプションパーツ

ボックスサイド（左右 2 個セット）

収納物の引出しわきへの落下を防ぎます。重ねての収納や背の高い収納物の収納が安心してできます。

MEMO　ボックスサイドを取り付ける場合、上部に小物入れは設置できません。

シングルボックスサイド

●ロータイプ

引出し奥行	品番	価格
35cm	KAP-35SBS	￥1,575　(税抜￥1,500)
40cm	KAP-40SBS	￥1,575　(税抜￥1,500)
45cm	KAP-45SBS	￥2,100　(税抜￥2,000)
50cm	KAP-50SBS	￥2,100　(税抜￥2,000)
55cm	KAP-55SBS	￥2,100　(税抜￥2,000)

ロータイプ

使用例

●ハイタイプ

標準引出し用

引出し奥行	品番	価格
35cm	ZKH035BS-K	￥2,100　(税抜￥2,000)
40cm	ZKH040BS-K	￥2,100　(税抜￥2,000)
45cm	ZKH045BS-K	￥2,625　(税抜￥2,500)
50cm	ZKH050BS-K	￥2,625　(税抜￥2,500)
55cm	ZKH055BS-K	￥2,625　(税抜￥2,500)

※高さ 80 cmのキッチンのフロアコンテナには対応不可です。

ハイタイプ
（標準引出し用）

使用例

うきうきポケット付引出し用

引出し奥行	品番	価格
40cm	ZKH040BP-K	￥2,100　(税抜￥2,000)
45cm	ZKH045BP-K	￥2,625　(税抜￥2,500)
50cm	ZKH050BP-K	￥2,625　(税抜￥2,500)
55cm	ZKH055BP-K	￥2,625　(税抜￥2,500)

ハイタイプ
（うきうきポケット用）

使用例

ダブルボックスサイド

引出し奥行	品番	価格
35cm	ZKH035BD-K	￥2,100 (税抜￥2,000)
40cm	ZKH040BD-K	￥2,100 (税抜￥2,000)
45cm	ZKH045BD-K	￥2,625 (税抜￥2,500)
50cm	ZKH050BD-K	￥2,625 (税抜￥2,500)
55cm	ZKH055BD-K	￥2,625 (税抜￥2,500)

ダブルボックス
サイド

使用例

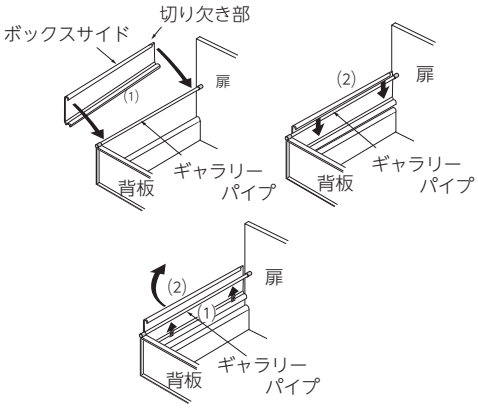
ボックスサイドの脱着

取り付け方

1. 切り欠き部を扉側にして、引出しの外側からギャラリーパイプに押しあてる。
2. ボックスサイドの上部がギャラリーパイプに引っ掛かるように、上から押し付ける。

取り外し方

1. ボックスサイドを、上へ持ち上げる。
2. 引出しの外側方向へ取り外す。



ボトル立て

調味料などのボトルの大きさに合わせて調整できる仕切りです。ボトルが倒れる心配がなくなり、使いやすくなります。

キャビネット間口	品番	価格
30㎝	HACB-30N	￥1,785（税抜￥1,700）
45㎝	HACB-45N	￥2,205（税抜￥2,100）
60㎝	HACB-60N	￥2,415（税抜￥2,300）
75㎝	HACB-75N	￥2,625（税抜￥2,500）
90㎝	HACB-90N	￥4,410（税抜￥4,200）

MEMO 取り付け位置の調整方法は、クロスギャラリー (P.45) と同様です。

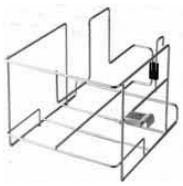
ボトル立て

使用例

フライパン立て（コンロキャビネット用）

コンロキャビネットの引出しに設置すれば、フライパンを立てて収納できます。

品番	価格
ZKHGNN-K	￥7,350（税抜￥7,000）


フライパン立て

使用例

レードルポケット

おたまやしゃもじなどを入れるのに便利です。クロスギャラリーに取り付けて使用します。

品番	価格
ZKHXNN-K	￥1,260（税抜￥1,200）

レードルポケット

使用例

スチールバックサポート

収納物の引出し奥への落下を防ぎます。重ねての収納や背の高い収納物の収納が安心してできます。

キャビネット間口	品番	価格
30㎝	ZKH030KN-K	￥1,890（税抜￥1,800）
45㎝	ZKH045KN-K	￥2,100（税抜￥2,000）
60㎝	ZKH060KN-K	￥2,310（税抜￥2,200）
75㎝	ZKH075KN-K	￥2,625（税抜￥2,500）
90㎝	ZKH090KN-K	￥2,940（税抜￥2,800）
105㎝	ZKH105KN-K	￥3,360（税抜￥3,200）

スチールバックサポート

使用例

フロアコンテナ用ライザー（米びつ）

間口 45㎝以上のフロアコンテナに収納できます。お米が約 10 kg 入る容量があります。

品番	価格
CK-10KC	￥4,200（税抜￥4,000）

※高さ80㎝のキッチンのフロアコンテナには対応不可です。

フロアコンテナ用ライザー

使用例

5.10. キャビネット用オプションパーツ

開き扉用ライザー（米びつ）

間口 30㎝以上、奥行 45㎝以上の開き扉内に収納できます。お米が約 10 kg 入る容量があります。

品番	価格
ZKCRNN-K	￥10,500（税抜￥10,000）

開き扉用ライザー

使用例

小物入れ

調味料のほか、箸置きやスプーンなどの小物の整理に便利です。間口 30㎝用以外は可動仕切り板がついています。奥行 10㎝と 15㎝の 2 タイプがあります。

小物入れ
（奥行 10㎝）

小物入れ
（奥行 15㎝）

使用例

奥行10㎝タイプ		
キャビネット間口	品番	価格
30㎝	HAUE-30N	￥7,875（税抜￥7,500）
45㎝	HAUE-45N	￥8,190（税抜￥7,800）
60㎝	HAUE-60N	￥10,395（税抜￥9,900）
75㎝	HAUE-75N	￥12,390（税抜￥11,800）

奥行15㎝タイプ		
キャビネット間口	品番	価格
30㎝	HAUD-30N	￥8,190（税抜￥7,800）
45㎝	HAUD-45N	￥9,975（税抜￥9,500）
60㎝	HAUD-60N	￥12,075（税抜￥11,500）
75㎝	HAUD-75N	￥13,545（税抜￥12,900）
90㎝	HAUD-90N	￥18,060（税抜￥17,200）

シンク幕板用タオル掛け

シンクキャビネットの幕板に取り付けるので、腰をかがめずにタオルが使用できます。また、使用する際は、タオルを引いて拭ける面を広げることができます。

MEMO 後から購入する場合は、クリナップテクノサービス㈱での取付・設置が必要です。別途サービス料金 9,000 円が加算されます。

品番	価格
ZKHBAN-K	￥7,350（税抜￥7,000）

※ロングバー取っ手タイプシンクキャビネットとフリースペースシンクキャビネットには対応不可です。

シンク幕板用
タオル掛け

使用例

タオル掛け

取っ手よりも高い位置にタオルを掛けられるので、使いやすい高さで、引出しにはさまる心配なくタオルが使用できます。

対応している取っ手の種類	品番	価格
フラットライン取っ手用	ZKHTCN-K	￥3,150（税抜￥3,000）
ライン取っ手用	ZKHTDN-K	￥3,150（税抜￥3,000）
バー取っ手用	ZKHCAN-K	￥3,150（税抜￥3,000）

タオル掛け

使用例

ご注文・お問い合わせは、クリナップテクノサービス株式会社アクセサリーパーツ係へどうぞ。

0120-846-447（受付時間／平日9：00～20：00）

キッチンアクセサリーパーツをご注文いただいた後、お客さまのご自宅へ商品をお届けするまで約1週間程度いただきます。

また、お買い上げ金額が税抜5,000円未満の場合は別途送料がかかります(一律、税込630円)。お支払いは代金引換のみとさせていただいておりますので、お届け時に配達員へ料金をお支払いください。

6.1. 使用上の注意、お手入れのしかた

使用上の注意

昇降式の吊戸棚をご使用の際は、以下の点にご注意ください。

禁止

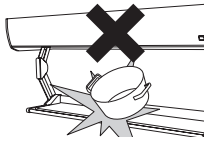
棚やラックが降りてくる範囲には、背の高いものを置かない。

収納ラックとぶつかり、破損する恐れがあります。

禁止

棚に衝撃を与えるように、ものを置かない。ものを引きずらない。

傷や破損の原因になります。



禁止

棚にぬれた包丁・缶詰などの金属製品、塩・しょうゆを長時間放置しない。

もらいサビを引き起こす恐れがあります。

必ず実行

昇降操作はハンドルの中央を持ってゆっくり行う。

端を持つと、レールが変形し、異音、破損の原因になります。また、勢いよく引き出すと、収納物の落下や、機構部の故障の原因になります。

お手入れのしかた

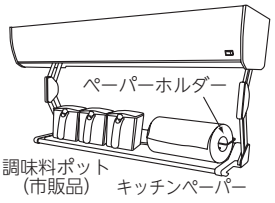
吊戸棚収納の各アイテムについて、特に記載がない場合は次の方法でお手入れをしてください。

- 通常のお手入れは、綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れは、薄めた中性洗剤をスポンジなどに含ませて落としてください。次に、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、その後、乾いた布で乾拭きしてください。

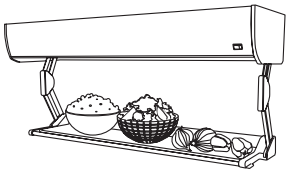
6.2. アイエリアボックス

アイエリアボックスは収納や一時置きに便利な昇降棚です。

- 水切りカウンタータイプは、食材などの仮置きや、洗い物をした後の皿やざる、ボール、鍋などの一時置きに使用できます。
- 調味料棚タイプは、キッチンペーパーや調味料を収納できます。



〈調味料棚タイプ〉



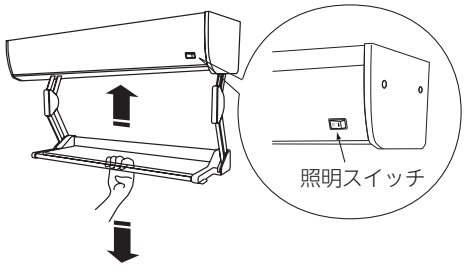
〈水切りカウンタータイプ〉

アイエリアボックスの使い方

- 下げる場合は、操作バーの中央部を持ち、逆手でゆっくり垂直に下げてください。上げる場合も同様にゆっくり垂直に上げてください。

MEMO 操作感は収納物の量や間口によって異なります。

- 棚は降ろしきった状態で使用するようにしてください。
- 照明は、棚が上がった状態でも使用できます。



●水切りカウンタータイプ

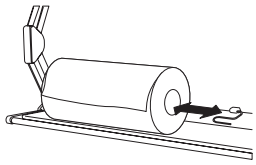
- 一時置きとして使用できます。棚の上に物を置いたまま棚を上げないでください。
- 水受けトレーにたまった水は、こまめに捨ててください。

6.2. アイエリアボックス

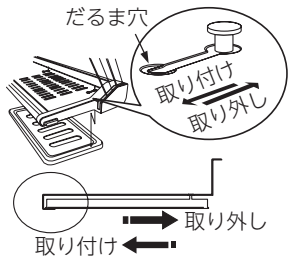
アイエリアボックスの使い方 （つづき）

●調味料棚タイプ

- 収納できる大きさは高さ 12㎝以内、奥行 18㎝までです。
- 収納物の重さががかたよらないように、均等に収納してください。
- 収納物がない状態では、棚を下げるときに操作が重く感じます。
- キッチンペーパーを取り付けられるペーパーホルダーが付いています。ペーパーホルダーをスライドさせて、キッチンペーパーの芯に差し込んで使用してください。



水受けトレーの脱着



取り外し方

両手でトレーを後方にスライドさせ、トレーのピンがだるま穴（8 の字型の穴）から外れる位置で下に降ろす。

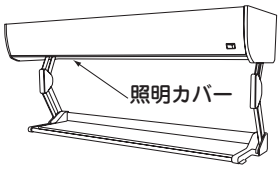
取り付け方

取り外し方の逆の手順で行う。

トレーは手前までしっかりとスライドさせてください。

照明カバーの脱着

照明の取り付けおよび取外しは、棚を降ろしきった状態で行ってください。

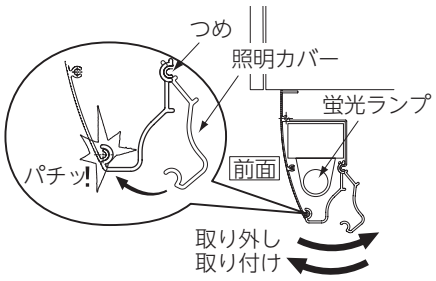


取り外し方

照明カバーの前部を後方に押し込んでから、後部のつめを外す。

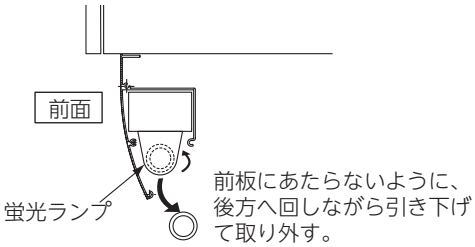
取り付け方

照明カバー後部のつめに引っ掛けて、後方に押し込みながら前部のつめに入れる。



蛍光ランプの脱着

蛍光ランプの取り外しは、90 度回転させて右図のように引き下げ、ソケットから蛍光ランプを取り外す。

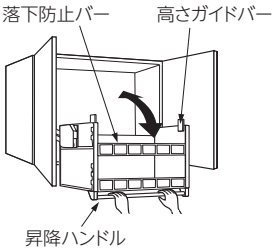


MEMO 蛍光ランプの交換には、指定の部品を使用してください。
・交換蛍光ランプ…20 形蛍光灯　FL20SW

6.3. ムーブダウン吊戸棚

ムーブダウン吊戸棚は、収納物の重量に合わせて軽い力で降ろせる可動式の吊戸棚です。

ムーブダウン吊戸棚の使い方



- 昇降ハンドルの中央部を両手で持ち、ゆっくり上げ下げしてください。

MEMO 操作感は収納物の量や間口、バネ切り替えレバーの設定により異なります。

使用上の注意

禁止

落下防止バーを持って引き出さない。

落下防止バーが外れたり、曲がったりする恐れがあります。

必ず実行

落下防止バーを必ず掛けて使用する。

昇降時に収納物が動いて落下する恐れがあります。

禁止

ぬれたものを収納しない。

破損やサビの原因になります。

禁止

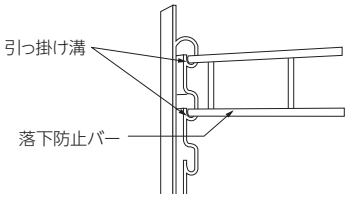
調理作業時などに、収納ラックを降ろしたまま放置しない。

頭などをぶつける恐れがあります。

落下防止バーの調整のしかた

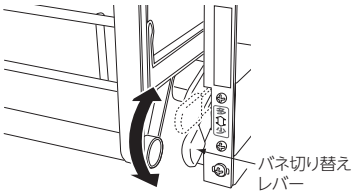
収納物に合わせて、落下防止バーの位置を調節してください。

1. 落下防止バーを両手で持ち、引っ掛け溝から外して、上下に移動させる。
2. 位置が決まったら、落下防止バーの両端を確実に、引っ掛け溝に入れる。



バネ切り替えレバーの調整のしかた

収納物の重さに応じて、表を目安にバネ切り替えレバーを調節してください。収納物の出し入れの後には、必ず操作性を確認して、必要があれば調節してください。

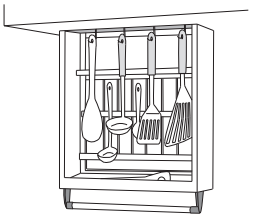


MEMO
- 使い始めの何も収納物が載っていないときは、バネ切り替えレバーを左右とも「少」の位置にしてから、引き下げてください。それ以外の位置では、操作が重く感じます。
- 収納ラックが下がっているときには、レバーは切り替えできません。収納ラックを上げて、レバーを調整してください。

収納重量（目安）	左レバー	右レバー
0 ～ 5 kg	少	少
5 ～ 10 kg	少	多
	多	少
10 ～ 15 kg	多	多

6.4. プルダウン吊戸棚

プルダウン吊戸棚は、手前が通常棚板で、奥が昇降ラックになっています。
- 調味料棚タイプは、調味料や香辛料を収納できます。
- レードルラックタイプは上下２段にレードルが掛けられ、下部の小物トレーには菜箸などを収納できます。



使用上の注意

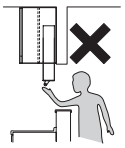
禁止

ぬれたものを収納しない。

サビの原因になります。

禁止

対面側からラックを上下操作しない。



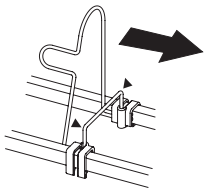
ケガや破損の原因になります。
プルダウンラックの操作は、キッチン側から行ってください。

プルダウン吊戸棚の使い方

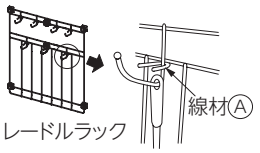
- 下げる場合は、操作バーの中央部を持ち、ゆっくり垂直に下げてください。上げる場合も同様にゆっくり垂直に上げてください。

注 意 収納物がない状態では、操作がかなり重く、上げる際にはバネの力で急上昇するので気をつけてください。

●調味料棚タイプ
- 調味料棚には、昇降時の音をやわらげるために樹脂シートが敷かれています。使用時には表面に貼ってある透明のシートをはがしてください。
- 間口 45㎝の調味料棚タイプの上段にはキッチンペーパーが収納できます。キッチンペーパーを取り外しするときは、右図のようにホルダーの２つの角を親指と人さし指で持って水平に引っ張ります。取り付けるときは、ペーパーホルダーを逆の方向にスライドさせて、キッチンペーパーの芯に差し込んで使用してください。



●レードルラックタイプ
- フック部分の上についている線材Ⓐは、プルダウン吊戸棚を昇降する際に、フックからレードルが落下しないために取り付けられています。レードルは線材Ⓐの下部に掛けるようにしてください。



小物トレーの脱着

収納物をすべて取り出してから行ってください。

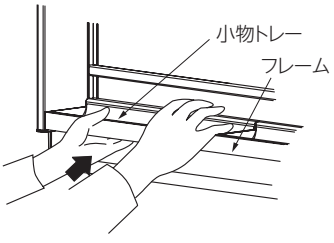
取り外し方

底から小物トレーを押し上げる。

飛び出しを防ぐために、もう片方の手を添えながら行ってください。

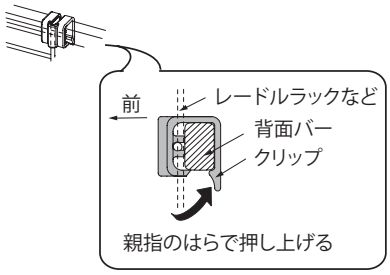
取り付け方

小物トレーとフレームを水平にして、上から垂直にセットする。



底から押し上げて外す。

ラック類の脱着



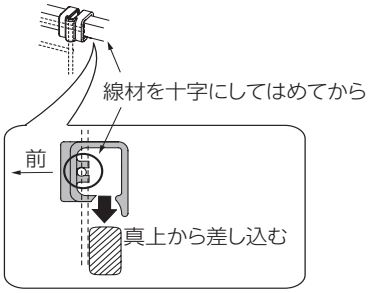
取り外し方

親指のはらを使って左右のクリップを同時に押し上げる。

取り付け方

1. ラックの線材が十字になっている部分にクリップをはめ込む。
2. 背面バーの真上からクリップを左右同時に差し込む。

MEMO ペーパーラックは、クリップを前後逆にして取り付けてあります。



ペーパーラックは、クリップの前後を逆にして使います

注 意 使用する前に、ラック類がきちんとセットされているか確認してください。ラック類が落下してケガをする恐れがあります。

お手入れのしかた

- 調味料棚に敷いてある樹脂シートは、水を含んだ布で洗剤を拭き取った後、自然乾燥させます。乾拭きをする場合は、ティッシュペーパーや毛脚の長いタオルなどでこすると繊維が付着する恐れがあるので、乾いた布で行ってください。その他のお手入れは P.49 を参考に行ってください。

6.5. フラップ扉吊戸棚

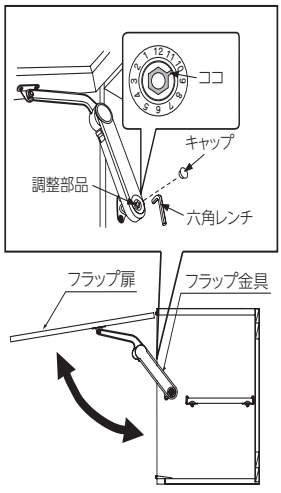
フラップ扉吊戸棚は、扉を全開にしなくても開けた位置で止まるフリーストップ機能が働きます。

使い方

扉の調整のしかた

フリーストップ機能が働かず、扉の開閉に不具合がある場合は下記の手順で調整してください。

1. フラップ金具のキャップを外す。
2. 付属の六角レンチを調整部品に差し込み、回して調整する。
   - 扉が下がってしまう場合は、数字を大きい方に、扉が上がってしまう場合は、数字を小さい方に合わせる。

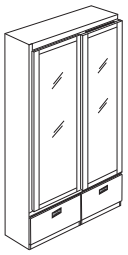


扉サイズ(㎜)		ダンパー
間口	高さ	初期設定
600	560	1
	660	8
750	560	6
	660	11
900	560	7
	660	12

7.1. システムエリア収納・バーチカルスライド収納

システムエリア収納は、食器の収納等に便利な収納力の高い収納庫です。
バーチカルスライド収納は、キッチン小物や食料品等、雑多な小物を簡単に隠せる上下スライド式の収納庫です。
扉には閉めるときの音や衝撃をやわらげるダンパー機構がついています。

システムエリア収納



バーチカルスライド収納

使用上の注意

禁止

シースルー扉にはガラスクリーナーを使わない。

表面が変質・変色する恐れがあります。

●バーチカルスライド収納

必ず実行

扉の開閉際は、カウンターの上に障害物がないことを確認し、取っ手を持ってゆっくりと開閉する。

無理に力を入れて急に閉めたりすると、機構部に不具合が生じる恐れがあります。

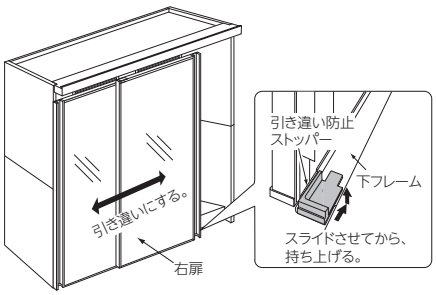
お手入れのしかた

シースルー扉の半透明板は、プラスチック（ポリスチロール）です。汚れた場合は、傷を避けるため、綿などの柔らかい布で拭いてください。

扉の裏面をお手入れする場合

●システムエリア収納

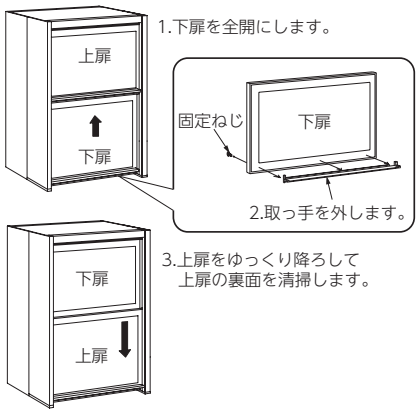
1. 右扉の下フレーム右下に取り付けられている引き違い防止ストッパーを取り外す。
2. 左右の扉を引き違いにし、扉の裏面を拭く。
3. 清掃が終わったら、引き違い防止ストッパーを元の位置に取り付け直す。



MEMO 引き違い防止ストッパーは、指はさみを防止するために必要な部品です。お手入れした後は、必ず取り付けて使用してください。

●バーチカルスライド収納

1. 下扉を一番上まで全開にする。
2. 下扉の取っ手を裏面から固定しているねじを外す。
   取っ手を外すと、上扉と下扉を引き違いにできます。
3. 上扉をゆっくり降ろして、扉裏面を拭く。
4. 清掃が終わった後、上扉をゆっくり上げて下扉に元どおりにして、取っ手を取り付ける。



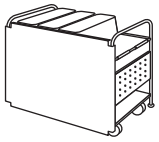
注 意 扉の引き違い時には、指はさみに十分注意してください。

7.2. リサイクルゴミワゴン

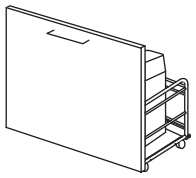
リサイクルゴミを分別するのに便利なゴミワゴンです。家電収納庫の下に入れられるタイプと、扉面材がついたタイプの２種類があります。

MEMO ワゴンのキャスターによるワックスのはがれが目立つ場合があります。

リサイクル
ゴミワゴン



扉面材付リサイクル
ゴミワゴン



使用上の注意

必ず実行

ゴミを入れたまま長時間放置しない。臭いの気になるゴミは、新聞紙にくるんだり、ビニール袋に入れたりして、こまめに捨てる。

悪臭の原因になります。

禁止

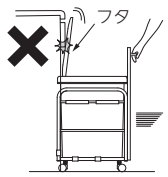
生ゴミは収納しない。

悪臭の原因になります。

必ず実行

ゴミ箱のフタが閉まっていることを確認してから、キャビネットに収納する。

フタが開いている状態で収納しようとすると、フタが破損します。



必ず実行

ワゴンの出入れ時に、収納するキャビネットや隣接するキャビネットに強く当てない。

破損の原因になります。

リサイクルゴミワゴンの使い方

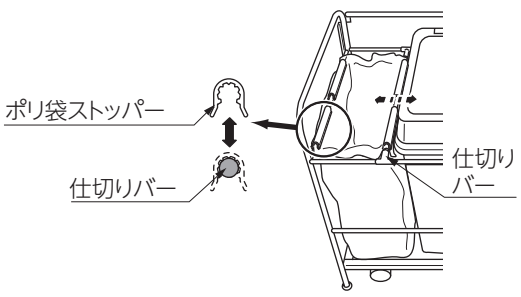
リサイクルゴミを収納する場合は、汚れたものや水分が付着しているものは汚れを落として、乾燥させてから収納してください。

●扉面材付リサイクルゴミワゴンの場合
ワゴンの開閉時は、両手で取っ手を持ちながら引き出してください。ワゴンが左右にぶれず、引き出しやすくなります。

ポリ袋ストッパーの止め方

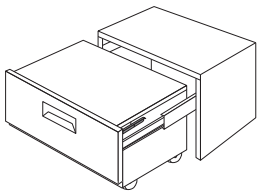
間口 75、90㎝のリサイクルゴミワゴン、間口 90㎝の扉面材付リサイクルゴミワゴンには、ポリ袋を固定するのに便利なストッパーがついています。

1. ポリ袋ストッパーの脱着がしやすいように、仕切りバーを横にスライドさせる。
2. ポリ袋ストッパーを上に強く引っ張って外す。
3. 右図のようにポリ袋を広げて、袋の端をはさむようにストッパーで止める。



7.3. ステップコンテナ

- 高い位置のものを取るときの踏み台としても活用できる収納です。
- 完全に引き出すと動かないように、自動ロックが掛かります。

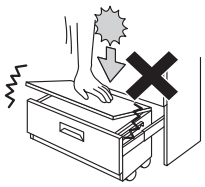


使用上の注意

禁止

ステップコンテナのステップ部（上フタ部）は、無理に力を入れて急に閉めない。

開閉時に手や指をはさまないようフタがゆっくり閉まる機構がついています。機構部への負荷は故障の原因になります。



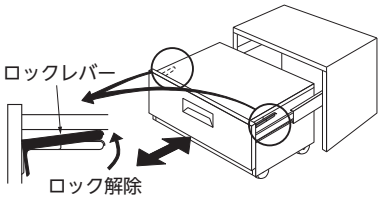
ステップコンテナの使い方

- 台の中央部に乗って、高いところにある収納物を出し入れできます。
- 取っ手を持ってステップコンテナを引き出してください。ロック機構が働くまで完全に引き出してください。収納する場合は、ステップコンテナ左右のロックレバーを上へ上げて、ロック機構を解除してください。
- 上フタを開けるとステップコンテナの中に食器や道具類を収納できます。
- ものが奥に落ちた場合や、掃除をする際には、ステップコンテナを引き抜くことができます。

ステップコンテナの脱着

取り外し方

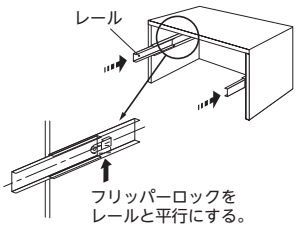
1. ステップコンテナ左右のロックレバーに手を添えて、解除位置までロックレバーを上へ上げて解除する。
2. 両手でゆっくりとまっすぐに引き抜く。



取り付け方

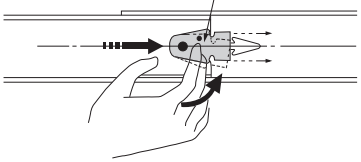
1. キャビネット側のレールを奥に入れる。

   レールの奥側にフリッパーロックがついていますので、これをレールと平行になる位置に押さえながら、レールを奥に入れてください。



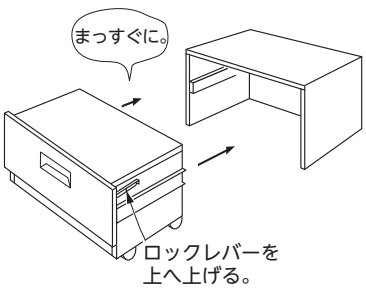
注 意 フリッパーロックをレールと平行にしないと、レールが奥に入りません。無理にレールを入れると、レールが破損する恐れがあります。

2. ステップコンテナのロックレバーに手を添えて、解除位置まで両側のレバーを上へ上げる。



3. ステップコンテナのレールと、キャビネット側のレールの位置を合わせて、ゆっくりとまっすぐに差し込み、約20㎝収納後、手を離して扉を前から強く押して収納する。

   斜めから差し込むと、下部のキャスターが一方向にしか動かないため、まっすぐに差し込めません。必ずステップコンテナをまっすぐにして、差し込んでください。

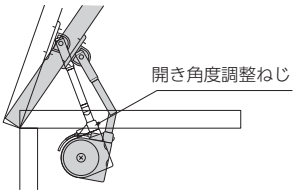


4. ステップコンテナを完全に引き出して、ロックが掛かるか確認する。

   ロックがうまく掛からない場合は、もう一度引き抜いて最初からやり直してください。

ソフトダウンステーの開き角度の調整

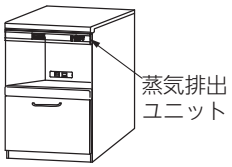
ステップコンテナのフタを開けたときに、ステーのアーム部がまっすぐでない場合は、図の開き角度調整ねじを⊕ドライバーで調整してください。アームが一直線に伸びた状態になるのが正しい状態です。



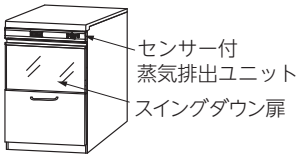
7.4. 家電収納庫

- 電気炊飯器、電気ポットが置くことができます。
- 扉付家電収納庫は、家電をスッキリと隠すことができます。

家電収納庫



扉付
家電収納庫



使用上の注意

禁止

家電の電源コードをスライド台のレールにはさまない。

断線、感電の原因になります。

禁止

家電収納庫の引出しを開けた状態やスライド台を手前へ引き出した状態で、無理な力をかけない。

破損の原因になります。

●扉付家電収納庫

必ず実行

スイングダウン扉は、キャビネット下部の引出しやワゴンを収納した状態で操作する。

ワゴンや引出しとスイングダウン扉がぶつかり、破損する恐れがあります。

家電収納庫の使い方

- スライド台レールには、動き防止のためのストッパーがついています。スライド台を奥まで収納したときと、手前まで引き出したときに炊飯器等の家電の操作などで、スライド台を動かないようにするためのストッパーです。
- ご使用になるときは、奥まできちんと収納し、または手前まできちんと引き出し、ストッパーが働いていることを確認してください。

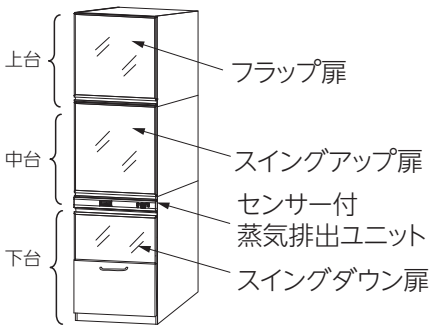
●蒸気排出ユニット付タイプ
- スライド台をキャビネット内に収納したままで炊飯・沸騰ができます。
- 詳細な蒸気排出ユニットの使い方は、付属の取扱説明書をお読みください。

●蒸気排出ユニットなしタイプ
- 炊飯・沸騰などを行うときは、スライド台をキャビネットから引き出した状態で使用してください。

●扉付家電収納庫
- キャビネットに付いているスイングダウン扉を閉めた状態で、炊飯・沸騰ができます。
- 蒸気排出ユニットのファンは自動で作動しますが、異常高温を検知した場合は、電気を遮断します。
- 詳細なセンサー付蒸気排出ユニットの使い方は、付属の取扱説明書をお読みください。

7.5. 扉付トール家電収納庫

- 家電を一カ所にまとめながら、扉でスッキリと隠すことができます。
- 中台には電子レンジを置くことができます。
- 下台には、電気炊飯器、電気ポットを置くことができます。



使用上の注意

●中台（スイングアップ扉収納部）

必ず実行

オーブンレンジ・電子レンジの設置の際には、離隔距離を守って設置する。

レンジからの熱により、キャビネットが傷む恐れがあります。離隔距離については、ご使用の機種の取扱説明書をご参照ください。

必ず実行

扉を全開にした状態で、オーブンレンジ・電子レンジを使用する。

熱のこもりやすい半開状態では通電せず、使用できません。

必ず実行

使用後のオーブンレンジが高温である場合は、十分冷ましてから扉を閉める。

冷却ファンが作動する機種の場合は、ファンが動いている間（最大３０分程度。ご使用の機種の取扱説明書をご参照ください。）は扉を閉めないでください。高温のまま扉を閉めると、庫内に熱がこもり、キャビネットが傷んだり、収納機器が故障する恐れがあります。

必ず実行

キャビネット内部に水滴がついた場合は、すぐに拭き取る。

キャビネットの変色やふくれなどの恐れがあります。

禁止

上台のフラップ扉が開いた状態で、中台のスイングアップ扉を開けない。

フラップ扉とスイングアップ扉が接触して破損する恐れがあります。

禁止

スイングアップ扉を開けた状態で、無理な力をかけない。

電気が遮断される恐れがあります。

扉付トール家電収納庫の使い方

●上台（フラップ扉収納部）
- フラップ扉吊戸棚と同様の使い方をしてください。

参照 6.5. フラップ扉吊戸棚　P.53

●中台（スイングアップ扉収納部）
- 電子レンジを置くことができ、使用しないときは扉ですっきり隠せます。
- スイングアップ扉が半開きの状態では通電しないので、内部に熱がこもりにくい安全な設計です。
- 天板は、スチームオーブン等からの蒸気に強いステンレス貼り仕様です。

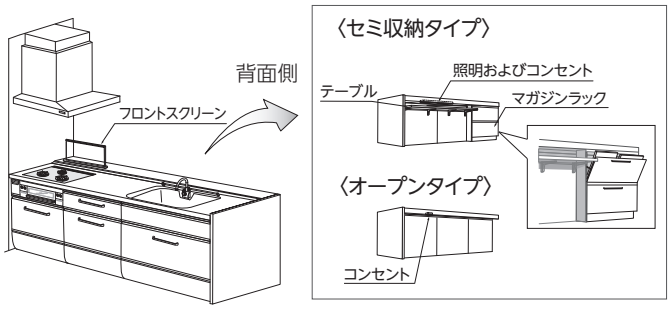
●下台（スイングダウン扉収納部）
- 扉付家電収納庫と同様の使い方をしてください。

参照 7.4. 家電収納庫　P.57

8.1. ステップ対面用マガジンラック

ステップ対面キッチンではダイニングでよく使用する本や雑誌を収納できる、マガジンラックがダイニング側に設置できます。

MEMO 雑誌類は背表紙が見えるように横向きにマガジンラックに入れると便利です。



使用上の注意

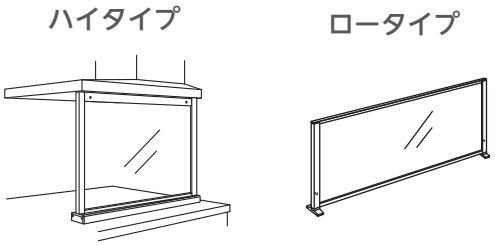
必ず実行

マガジンラックの中に本がきちんと納まっていることを確認してから閉める。無理に力を入れて急に閉めたりしない。

ゆっくり閉まる機構がついています。収納ラックが変形したり、引出しの動きに不具合が生じます。

8.2. フロントスクリーン

コンロから発生した油や煙がダイニング側へ流入するのを防止します。



使用上の注意

禁止

金属タワシや粒子の粗いクレンザーでこすらない。

傷がつく恐れがあります。

お手入れのしかた

汚れは、中性洗剤をスポンジまたは水を含んだ布につけて洗ってください。洗った後は、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、その後、乾いた布で十分に水気を拭き取ります。
ロータイプの場合は取り外してお手入れを行うことをお勧めします。

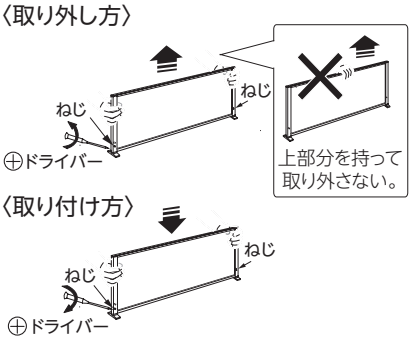
脱着方法（ロータイプ）※

取り外し方

1. フレームの裏側にある抜け防止ねじを⊕ドライバーでゆるめる。
2. フレームの両側を上へ持ち上げる。

取り付け方

3. 取り外し方の逆の作業を行う。



注 意 ・フレームの上枠部分を持って、取り外さないでください。

・フロントスクリーンを取り付ける際は、裏側にある抜け防止ねじを⊕ドライバーでしっかりと締め付けてください。フロントスクリーンのぐらつき、破損の原因になります。

※ハイタイプは、お客様ご自身での脱着は危険ですので行わないでください。

8.3. 壁パネル・アシストラック

使用上の注意

禁止

パネル部にテープ類や吸盤を取り付けない。

はがすときに、表面シートがはがれる恐れがあります。

禁止

パネルに強い衝撃をあたえない。また、硬いもの・鋭利なものをあてない。

傷などの損傷が生じる恐れがあります。

禁止

パネル部は粒子の粗いクレンザー類や金属タワシなどで、表面をこすらない。

傷がつく恐れがあります。

禁止

家庭用ワックス、漂白剤・硫酸、塩酸などの強酸、シンナー・ベンジンなどの有機溶剤を使用しない。

変色の原因や塗装がはがれる原因になる場合があります。

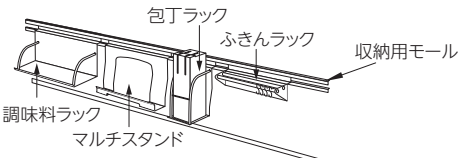
禁止

アシストラックを設置するときは、水栓が当たらない位置であることを確認する。

アシストラックや水栓の傷や破損、収納物が落下する恐れがあります。

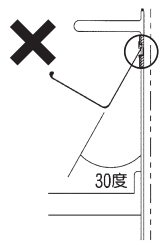
アシストラック（オプション）の使い方

壁パネルに収納用モールを設置することで、日常使いの調味料や小物が手の届きやすい場所に収納できるアシストラックが取り付けられます。



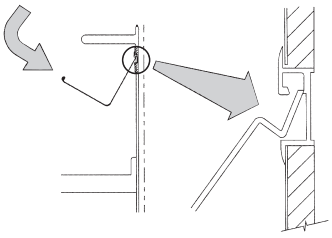
注 意

- アシストラックは 30 度以上傾けないでください。30 度以上傾けると、アシストラックが外れやすくなり、落下する恐れがあります。
- 包丁ラックに、出刃包丁や、刃の長い包丁、特殊な包丁、ナイフなどは入れないでください。包丁ラックに納まらず、外れる恐れがあります。
- 包丁ラックに、包丁を入れる際には、包丁がガタつかないよう、しっかり差し込んでください。しっかり固定しないと、包丁が外れる恐れがあります。



取り付け方

1. アシストラックの上端の折り返しを、収納用モールの開口部に斜めから差し込む。
2. その状態で本体を下へ降ろす。



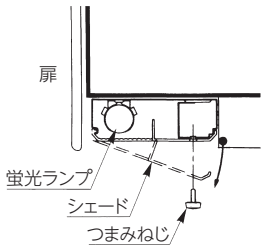
お手入れのしかた

- 通常のお手入れは、綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れは、薄めた中性洗剤をスポンジなどに含ませて落としてください。次に、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、その後、乾いた布で乾拭きしてください。
- パネル間の目地はゴミやアカがつきやすいので、こまめに汚れを拭き取ってください。

8.4. 照明器具

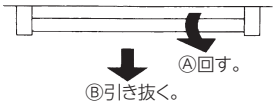
作業時に便利な、手元をしっかり照らす照明です。
照明付き吊戸棚の場合、およびステップ対面のダイニング側に取り付けられている照明の場合は、1200W のコンセントが 1 口ついています。

MEMO 照明器具は低温時や点灯直後に蛍光ランプが安定するまで、チラつきの現象がありますが、器具の故障ではありません。3 分程度時間が経過すると安定します。



蛍光ランプの交換のしかた

1. つまみねじを反時計回りに回し、つまみねじ、シェードを外す。
   シェードは後部を回転させるように取り外す。
2. 図のⒶ、Ⓑの順序で蛍光ランプを取り外す。



MEMO 蛍光ランプの交換には、下記の部品を使用してください。

- 交換蛍光ランプ…20 形蛍光灯　FL20

お手入れのしかた

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6 カ月に 1 回程度）にお手入れしてください。
- 器具のお手入れは、綿などのやわらかい布に水をよく浸し、硬く絞ってから、汚れを拭き取ってください。仕上げに、乾いた布でもう一度器具を拭いてください。

9.1. Q & A

Q . 排水の流れが悪いです。

A . 次の点をご確認ください。
- シンクの浅型カゴにゴミがたまっていませんか？
- シンクの排水口周りが汚れていませんか？ 参照 部品ごとのお手入れ方法 P.27
- 排水管が汚れていませんか？集合住宅などで行う排水管洗浄については以下のページを参照してください。 参照 集合住宅などにおける集中洗浄（高圧洗浄）時の留意点 P.27

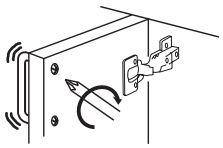
Q . 排水口がにおいます。

A . 防臭パイプが汚れていませんか？お手入れについては以下のページを参照してください。

参照 部品ごとのお手入れ方法 P.27

Q . 排水口から " ゴボゴボ " 音がします。

A . 流れる水の量が多いと、空気を巻き込んで音がすることがあります。
異常ではありません。



Q . 開き扉がガタつきます。

A . 取っ手、または丁番や座を取り付けているねじがゆるんでいませんか？
ねじがゆるんでいる場合は、⊕ドライバーで締め直してください。

Q . 引出しがきちんと閉まりません。

A . 隣接するキャビネットの引出し前板が当たっている場合は、引出し前板を調整してください。

参照 引出し前板の調整のしかた P.43

Q . 害虫（ゴキブリ）が入ってきます。

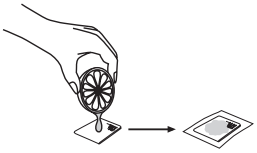
A . ゴキブリは小さなすき間でも侵入できます。虫が好む環境（暗部、湿気、食べ物）をなるべくなくしましょう。
- 食器などの後片付けは水滴を拭き取ってから収納する。
- 開封した食品は樹脂容器等に入れる。
- ときどき、扉を開放して換気する。

Q . ステンレスに落ちにくい汚れ（水あかなど）がついてしまったらどうしたらいいですか？

A . お手入れについては以下のページを参照してください。

参照 ステンレスワークトップのお手入れ P.21

Q . ステンレスにもらいサビしてしまったらどうしたらいいですか？



A . ①サビた部分に小さく折りたたんだキッチンペーパーを載せて、その上からレモン汁を十分に含ませます。
②レモン汁が蒸発しないように、ラップフィルムをかけて放置します。軽いサビなら 1 日程度で除去できます。

Q . うきうきポケットの動きが悪いのですが、どうしたらいいですか？

A . 下表の「動きの状態」と「確認内容」をご確認ください。

動きの状態	確認内容
引出しが閉まるのが遅い 引出しを閉めるのが重い	・収納物が軽いと引出しが閉まるのが遅くなったり、閉めるのが重くなったりすることがあります。異常ではありません。 引出しの開閉が重たい場合は調整することができます。 参照 引出し開閉力の調整のしかた P.31
うきうきポケットが動かない	・ガイドアームがガイドレールから外れていませんか？ 参照 うきうきポケット付引出しの脱着 P.32，P.33

保　証　書

⊙ キッチン用

出張修理

シリーズ・品番	クリンレディ		
保　証　期　間	取付・設置日から2年間	★取付・設置日	年　月　日

★お客様	ご住所	
	お名前	様　TEL　(　)
★販売店	住所 店名	TEL　(　)　㊞ またはサイン

ご販売店様へ　上記★印欄は必ず記入してお渡しください。

無料修理規定

★印欄に記入がない場合は、商品に貼付されている検査済証に記載のロットNo.などから確認できる製造年月日により、保証期間の開始日を認定させていただきます。

本保証書は、取付・設置日から本保証書に明示した期間中故障が発生した場合には、無料修理規定の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
   保証期間中は無料修理になりますので、修理に際しては必ず本保証書をご提示ください。
2. 修理が保証期間中の無料修理に該当するかどうか、また、アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。
3. ご転居の場合の修理依頼先は、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。
   (1) 使用上の故意・過失または不適切な修理や、改造による故障および損傷。
   (2) 消耗部品（照明の管球、グローランプ、パッキンなど）の取り替えや修理、ストレーナーのゴミづまりなどによる故障および損傷。
   (3) お買い上げ後の取付・設置場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
   (4) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）による故障および損傷。
   (5) 車両、船舶などに取付・設置された場合に生じる故障および損傷。
   (6) 仕上げの傷などで、お引き渡し時に申し出がなかったもの。
   (7) 瑕疵（かし）によらない自然の損耗、サビ、カビ、変質、変色、その他類似の事由による場合。
   (8) 維持管理の不備による汚れ、サビ、給水管、排水管のつまりなどの不具合。
      例えば、塩素系の洗剤、漂白剤、ヌメリ取り剤の使用によるシンク、カウンターのサビや腐食。
   (9) 第三者による管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合。
      例えば、ハウスクリーニング業者が指定の洗剤以外のクリーニング剤を使用してシンク、カウンター、扉などに変色や腐食が生じた場合、また、禁止されている方法で洗浄剤などを噴霧あるいは塗布したことによって機器の作動不良が生じた場合。ならびに、浄化槽や洗浄剤から発生するガスによるシンクや金属部品の腐食。
   (10) タバコの火、商品を傷める薬品（有機溶剤、塩素系洗剤、強酸，強アルカリ性洗剤など）の使用により、発生した損傷。
   (11) 犬・猫・鳥・鼠などの小動物や虫などの害に起因する故障および損傷。
   (12) 取付・設置説明書に記載された方法以外の取付・設置、または工事内容に起因する故障および損傷。
   (13) 建築躯体（くたい）の変形（強度不足、ゆがみ）など商品以外の不具合に起因する故障および損傷。
   (14) 異常電圧や指定外の燃料・電源（電圧・周波数）の使用および異常水質による故障および損傷。
   (15) 契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合。
   (16) 一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障および損傷。
   (17) 取付・設置完了後、引き渡し日までの間の管理などの不備による故障および損傷。
   (18) 保証期間経過後に申し出があった、もしくは、保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかった故障および損傷。
   (19) 本保証書のご提示がない場合。
   (20) 本保証書に取付・設置年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合（領収書などで左記内容がわかる場合はその限りではありません）、あるいは字句を書き換えられた場合。
   (21) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費。
5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
6. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※本保証書は、明示した期間、条件の基において無料修理をお約束するものです。
したがって、本保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※修理記録（年月日、修理内容、修理者名など）については、修理の際に修理伝票をお渡しいたしますので、大切に保管してください。

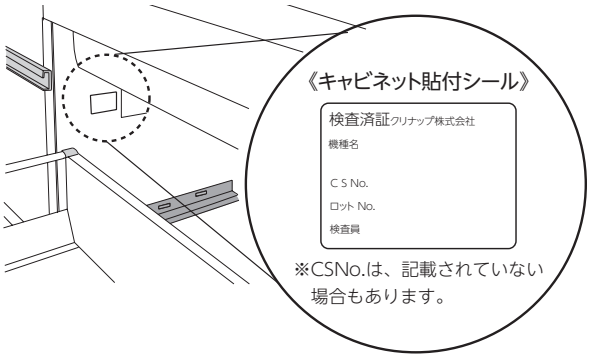
ご相談窓口 ： クリナップカスタマーセンター　TEL　0120-126-174

クリナップ株式会社

東京都荒川区西日暮里6-22-22　〒116-8587 TEL 03(3894)4771

修理の依頼について

この取扱説明書をよくお読みの上、再度点検して異常のあるときは、工事店・販売店、または下記のクリナップカスタマーセンターまでご依頼ください。
また連絡する際は、シンクキャビネット内に貼付してある検査済証の機種名・CSNo.・ロット No. もあわせてお知らせください。



《お客様メモ》アフターサービスのご連絡に便利です。

ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	
	☎

廃棄処分のしかた

この商品を廃棄処分する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

アフターサービスのご用命

ご使用にあたってご不明な点や、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または下記クリナップカスタマーセンターまでお問い合わせください。

●アフターサービスのご用命

0120-126-174 通話料無料

クリナップカスタマーセンター
ご依頼の際は、以下の内容をお知らせください。
●検査済証の機種名・CSNo.・ロットNo.●症状
●ご購入年月日　●お名前・ご住所・お電話番号

受付時間:
9:00～18:00
*ただし、1月1日(元旦)はお休みさせていただきます。
*諸般の事情により営業時間が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

お電話は、内容の確認と商品機能やサービスの質の向上などを目的として、記録・録音させていただくことがあります。
あらかじめご了承ください。なお、個人情報保護方針はhttp://cleanup.jp/に公表しております。

レンジフードフィルターなどの訪問販売に関するご注意

クリナップの名前をかたって、レンジフードの交換用フィルターなどを訪問販売したり、電話で注文を取ろうとする業者がありますが、当社とは一切関係ございませんので十分ご注意ください。

クリナップ株式会社
東京都荒川区西日暮里 6-22-22 〒116-8587 TEL 03(3894)4771

クリンレディ　取扱説明書
W102595000
1301B- 64 - 03